平成 30 年度事業報告

今日の社会福祉を取り巻く状況は「2025 年問題」と称されるように、来るべき超高齢・人口減少社会に向けた社会福祉の見直しが求められ、国においては医療、介護、介護予防、住まいの生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」や地域で暮らす人たちがともに支え合う「地域共生社会」の実現など、平成の次なる時代にむけた施策や仕組みづくりが進められています。

こうした中、本会の地域福祉実践計画「思いやりが根づくまち千歳」の理念を目指し、「つながり、支え合うまちづくり」「安心して暮らせるまちづくり」「地域福祉を先導する社協づくり」の3つの基本計画に基づき、さまざまな機関・団体との連携を図り、市民の理解と協力のもと地域福祉・介護保険に関わる68の事業に取り組みました。

特に30年度は、「お互いさまの地域づくり」を推進するため、社会福祉基金を財源に「暮らしのちょっと応援サービス」を新規事業としてスタートし、各地域での事業説明や講習会を実施させていただき、初年度は90件を超える身のまわりの助け合い活動の相談・対応をしました。

以下、本年度の重点事項に掲げた6項目の実施概要及び進捗状況については、次のとおりです。

【重点推進項目】

(1) 地域見守りネットワーク事業の推進

- ① 地域見守りネットワークでは、高齢者等の異変に気付いた協力団体等から2件の通報があり、迅速に安否確認を行うことができました。
- ② 事前に提供いただいた緊急時の連絡先等の本人情報をもとに、緊急時の安否確認のために活用する「事前登録制度」に新たに4名が登録し、担当する民生委員やケアマネジャーと連携して見守り体制づくりを進めるとともに、民生委員児童委員連絡協議会会長会等に出席して制度説明をするなど普及に努めました。

(2) ボランティアセンター機能の強化

- ① 平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震災害では、安平町に設置された災害ボランティアセンター（以下「センター」という。）の運営に10日間で延べ14名の職員を派遣し、支援ニーズとボランティアとのマッチング、地域ニーズの調査など、センターの運営を支援しました。また、これまでの災害等での災害ボランティアの重要性を踏まえて、「千歳市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を改訂し、より円滑なセンター立ち上げについて、職員を対象にセンターの設置・運営訓練を実施し、大規模災害に備えた対応の検証を行いました。
- ② 福祉やボランティアに対する理解の促進を図るため、小中高等学校における「福祉の授業」を積極的に支援し、実施校数は前年度比1校増の19校、実施回数は前年度比2回増の54回、参加人数は前年度比186名増の3,471名となり、福祉についての理解と関心を高めていきました。また、新たに福祉の授業を担当する講師と支援ボランティアの養成講座を開催して28名が参加し、福祉の授業を支援する人材育成と確保に努めました。

(3) 高齢者の健康づくりと介護予防を支援する事業の推進

- ① 町内会など介護予防サロンの実施団体数は、前年度比6団体増の49団体に拡がりました。また、地域の介護予防活動を推進する介護予防リーダーの養成講座を実施し、今年度新たに登録した36名を含む213名（前年度比28名増）の方が活動を支援し、介護予防の普及啓発とボランティアの育成に努めました。
- ② 千歳市の第2次健康づくり計画に基づき、「ノルディックウォーキングのまち構想」の実現に向けて開催した「基礎・体力アップコース」の講習会には延べ136名が参加し、また、ノルディックウォーキングポールの貸出し数は延べ888組（前年度比23組減）の貸出しを行い、健康づくりや介護予防の推進に取り組みました。

(4) 日常生活自立支援事業の推進

- ① 地域における権利擁護の支援については、高齢者や障がい者の相談機関と連携して取り組みを進め、北海道社会福祉協議会からの受託による日常生活自立支援事業の利用者数は新規契約者が前年度比3名増の8名、実利用者数は前年度比3名増の28名の方への契約支援を行いました。
- ② 本会が独自に実施する法人後見事業の利用者数は前年度比3名増の5名の方への契約支援を行いました。

(5) 新たな制度、権利擁護などの課題に対応する事業や仕組みの検討

1) 生活支援体制整備事業業務 **継続事業**

- ① 地域づくりを支援する第1層及び第2層生活支援コーディネーターを3名から5名に増員し、地域の介護予防サロンや交流の場に延べ366回に出向き、地域活動の把握、通いの場の支援やマップの作成、日常生活における助け合いの仕組みづくりに向けて、地域の方々との関係づくりに努めました。
- ② 町内会や事業者など地域の多様な団体等が参画し、情報共有や連携強化の場となる第2層協議体（日常生活圏域）の活動では、2～3か月に1度、各圏域で集まり、介護予防や外出のきっかけにつながる場を紹介したガイドマップ「おさんぼなび」の作成（各圏域1,000部）や情報交換を行い、地域の支え合いについて検討を進めました。

2) 地域公益活動に係る情報交換 **継続事業**

- ① 市内の社会福祉法人が連携した「地域の公益的な取組」の推進として、10月6日には今後の事業展開を考えることを目的に、「地域における公益的な取組みを考える学習会・懇話会」を開催して、地域福祉推進における社会福祉法人の存在意義を高めていきました。
- ② 北海道全域を対象とした地域公益活動として「地域福祉権利擁護体制構築に向けた法人・施設による福祉サービス利用援助事業」に参加する社会福祉法人千歳いずみ学園、晃裕会の活動を支援するとともに、連携して地域公益活動の促進に取り組みました。

3) 生活困窮者等に対する安心サポート事業の検討

道内の社会福祉法人や生活困窮者自立相談支援機関等と連携して相談支援や現物給付による経済的援助を行う「生活困窮者等に対する安心サポート事業」の取り組みについては、

実施地区の現状と取組課題を把握し情報収集に努めました。なお、実施にあたっては、継続的な相談支援が求められることから、専任職員の配置が必要になるなど人員体制の整備が課題となります。

4) 暮らしのちょっと応援サービス事業 **新規事業**

住民相互の助け合いを基本に、高齢者や障がいのある方、介護・子育て家庭に、電球の交換やゴミ出しなど、制度の狭間にある生活のちょっとした困りごとを支援する「暮らしのちょっと応援サービス（愛称：ヤマセミねっと）」について、事業の普及啓発、協力者養成を目的に10回の説明会・養成講座を開催し、延べ199名の方が参加し、住民相互に助け合う有償サービスの普及と人材確保に努めました。また、7月のスタートから、9か月間で協力者数55名、利用件数68件の実績となりました。

(6) 良質な介護保険サービス・障害福祉サービスを提供するための体制の強化

- ① 介護人材の不足から介護を必要とする方が介護を受けられないことがないように、ホームヘルパーの増員と本会介護保険事業所の中核となる人材の育成を行い、利用者の円滑な受入が行なえる体制の構築に努めましたが、新規利用者の申込みについては、目標とする件数を下回る結果となりました。
- ② 30年度は、介護保険法改正によりサービス提供の内容及び介護報酬などの見直しが行われました。本会では、改正により利用者及びその家族の負担が増すことがないように、サービス提供の向上に努めるとともに、医療との連携など強化されたサービスの適切な実施に取り組みました。なお、今回の介護報酬改定から、デイサービスの収入削減が見込まれたため、利用実績の増加に努めましたが、利用者の身体状況悪化による施設利用の一時休止や老人ホームなどの入所施設への利用変更、震災による休業などから、大幅に実績が減少する結果となりました。
- ③ 地域包括支援センターにおいては、要支援者及び総合事業対象者に対し介護予防サービスやインフォーマルな資源の利用調整など自立支援を目指した介護予防ケアマネジメントに取り組みました。

また、介護保険などに関する総合相談、虐待や困難ケースの対応のほか、圏域ごとの地域課題に応じた関係者のネットワークづくりなど地域包括ケアシステムの構築に努めました。

会議等の開催状況

(会場：社協会議室)

1 評議員会

<p>定時評議員会</p> <p>評議員 15名 理事 3名 監事 2名</p>	<p>平成 30 年 6 月 22 日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度第 1 回評議員選任・解任委員会の結果報告について ・平成 29 年度事業報告並びに会計収支決算について ・監査報告について ・平成 30 年度第 1 回会計収支補正予算について ・役員の補充選任について
<p>臨時評議員会</p> <p>評議員 10名 理事 4名 監事 2名</p>	<p>平成 31 年 3 月 28 日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度第 2 回会計収支補正予算について ・2019（平成 31）年度事業方針・事業実施項目について ・2019（平成 31）年度会計収支予算について ・本会役員報酬規程の一部を改正する規程の制定について

2 理事会

<p>第 1 回</p> <p>理事 11 名 監事 3 名</p>	<p>平成 30 年 5 月 28 日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会長専決事項の報告について ・平成 29 年度 3 月事業実施状況並びに 2 月～3 月の会計収支状況について ・平成 29 年度事業報告及び決算について ・監査報告について ・平成 30 年度第 1 回会計補正予算について ・評議員選任・解任委員会の招集並びに評議員の補充選任候補者の推薦について ・職員定数規程の一部を改正する規程の制定について ・理事補充候補者の選定に係る推薦団体の依頼について
<p>第 2 回（書面決議）</p> <p>理事 13 名</p>	<p>平成 30 年 6 月 15 日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理事補充候補者の選出について
<p>第 3 回</p> <p>理事 12 名 監事 2 名</p>	<p>平成 30 年 9 月 13 日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会長専決事項の報告について ・平成 30 年度第 1 四半期（4 月～6 月）事業実施状況並びに会計収支状況について ・平成 30 年度第 2 回監査の結果について ・平成 30 年度地域福祉実践計画検証委員会の結果について ・「暮らしのちょっと応援サービス事業（新規）」の進捗状況について ・平成 30 年度北海道胆振東部地震災害への対応について ・社協会員会費強調月間の結果について ・「今日から、」の発行状況について ・第 55 回千歳市社会福祉大会並びに平成 30 年度ちとせ地域福祉フォーラムの開催について ・平成 30 年度地域における公益的な取組みを考える学習会の開催について

<p>第4回</p> <p>理事 13名 監事 3名</p>	<p>平成30年 12月4日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会長専決事項の報告について ・平成30年度第2四半期（7月～9月）事業実施状況並びに会計収支状況について ・平成30年度表彰審査委員会の結果について ・平成30年度第1回広報委員会の結果について ・平成30年度第3回監査の結果について ・平成31年度予算編成の基本方針について ・第55回千歳市社会福祉大会並びに平成30年度ちとせ地域福祉フォーラムの開催について
<p>第5回</p> <p>理事 14名 監事 3名</p>	<p>平成31年 2月15日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会長専決事項の報告について ・平成30年度第3四半期（10月～12月）事業実施状況並びに会計収支状況について ・平成30年度第4回監査の結果について ・本会役員報酬規程の一部を改正する規程の制定について ・本会職員の給与等に関する規程の一部を改正する規程の制定について ・本会職員期末・勤勉手当支給規則の一部を改正する規則の制定について ・平成30年度臨時評議員会の招集について ・本会事務局規程の一部を改正する規程の制定について ・本会職員定数規程の一部を改正する規程の制定について ・平成30年度千歳市災害ボランティアセンター設置・運営訓練実施結果について
<p>第6回</p> <p>理事 13名 監事 3名</p>	<p>平成31年 3月18日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会長専決事項の報告について ・平成30年度第1回及び第2回法人後見運営委員会の結果について ・平成30年度第2回広報委員会の結果について ・平成30年度社会福祉法人に係る指導監査の結果について ・平成30年度第2回会計収支補正予算について ・生活応急資金の支払い免除について ・2019（平成31）年度事業方針・事業実施項目について ・2019（平成31）年度会計収支予算について ・2019（平成31）年度定時評議員会の招集について ・役員候補者の選出に係る推薦団体等について ・指定居宅介護支援事業所（祝梅ほっとす内）の閉鎖について

3 正副会長会議

第1回 正副会長3名、常務理事、事務局2名	平成31年 2月12日	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度第5回理事会の議案について 平成31年度事務局組織体制案について 今後の予定について
第2回 正副会長3名、常務理事、事務局2名	平成31年 3月8日	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度第6回理事会の議案について 2019（平成31）年度事業方針・収支予算の概要について 役員（理事・監事）改選スケジュールについて 平成31年4月1日付人事異動について 今後の予定について

4 委員会

「今日から、」編集委員会（第1回） 広報委員1名／職員5名	平成30年 4月3日	<ul style="list-style-type: none"> 社協会報発行要領、「今日から、」編集委員会設置要領の確認 平成30年度の「今日から、」の発行について 5月1日号の発行について
「今日から、」編集委員会（第2回） 広報委員1名／職員5名	平成30年 4月9日	<ul style="list-style-type: none"> 5月1日号の発行について
「今日から、」編集委員会（第3回） 広報委員1名／職員4名	平成30年 5月14日	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度「今日から、」掲載予定について 7月1日号の発行について
「今日から、」編集委員会（第4回） 広報委員1名／職員3名	平成30年 5月29日	<ul style="list-style-type: none"> 7月1日号の内容について 表紙について
「今日から、」編集委員会（第5回） 広報委員1名／職員4名	平成30年 6月5日	<ul style="list-style-type: none"> 7月1日号の内容について
地域福祉実践計画検証委員会 委員9名／職員8名	平成30年 6月27日	<ul style="list-style-type: none"> 第6次地域福祉実践計画の進行管理について 平成29年度（3年次目）評価について
「今日から、」編集委員会（第6回） 広報委員1名／職員4名	平成30年 7月26日	<ul style="list-style-type: none"> 9月1日号の内容について
「今日から、」編集委員会（第7回） 広報委員1名／職員5名	平成30年 8月2日	<ul style="list-style-type: none"> 9月1日号の内容について
「今日から、」編集委員会（第8回） 広報委員1名／職員5名	平成30年 9月26日	<ul style="list-style-type: none"> 9月1日号の発行について 11月1日号の内容について

「今日から、」編集委員会（第9回） 広報委員1名／職員3名	平成30年 10月3日	・11月1日号の内容について
表彰審査委員会 委員5名／職員2名	平成30年 10月12日	・平成30年度被表彰者の審査
第1回広報委員会 委員5名／職員3名	平成30年 11月12日	・広報紙「今日から、」の発行状況について ・ホームページの運用状況について
「今日から、」編集委員会（第10回） 広報委員1名／職員5名	平成30年 11月26日	・11月1日号の発行について ・1月1日号の内容について
「今日から、」編集委員会（第11回） 広報委員1名／職員5名	平成30年 12月3日	・1月1日号の内容について
第1回法人後見運営委員会 委員5名／職員3名	平成30年 12月11日	・委員長、副委員長の互選について ・法人後見受任適否等の検討について
「今日から、」編集委員会（第12回） 広報委員1名／職員5名	平成31年 1月25日	・1月1日号の発行について ・3月1日号の内容について
「今日から、」編集委員会（第13回） 広報委員1名／職員4名	平成31年 2月1日	・3月1日号の内容について
第2回法人後見運営委員会 委員5名／職員3名	平成31年 2月19日	・法人後見受任適否等の検討について
第2回広報委員会 委員6名／職員3名	平成31年 3月18日	・広報紙「今日から、」の発行状況について ・ホームページの運用状況について
「今日から、」編集委員会（第14回） 広報委員1名／職員3名	平成31年 3月27日	・3月1日号の発行について ・5月1日号の内容について

4 監査

(1) 法人監事監査

・第1回監事監査

と き 平成30年5月25日

実施者 藤村千秋監事、斉藤元彦監事、五十嵐隆子監事

内 容

(1) 平成30年1月1日から平成30年3月31日までの事業の業務執行状況について

(2) 平成30年1月1日から平成30年3月31日までの会計監査について

(3) 平成29年度決算書類の監査について

(監事監査意見)

収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財政状態を正しく示していると認める。事業は適切に執行していると認める。

・第2回監事監査

と き 平成30年8月22日

実施者 藤村千秋監事、斉藤元彦監事、五十嵐隆子監事

内 容

(1) 平成30年4月1日から平成30年6月30日までの事業の業務執行状況について

(2) 平成30年4月1日から平成30年6月30日までの会計監査について

(監事監査意見)

収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財政状態を正しく示していると認める。事業は適切に執行していると認める。

・第3回監事監査

と き 平成30年11月30日

実施者 藤村千秋監事、斉藤元彦監事、五十嵐隆子監事

内 容

(1) 平成30年7月1日から平成30年9月30日までの事業の業務執行状況について

(2) 平成30年7月1日から平成30年9月30日までの会計監査について

(監事監査意見)

収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財政状態を正しく示していると認める。事業は適切に執行していると認める。

・第4回監事監査

と き 平成31年2月8日

実施者 藤村千秋監事、斉藤元彦監事、五十嵐隆子監事

内 容

(1) 平成30年10月1日から平成30年12月31日までの事業の業務執行状況について

(2) 平成30年10月1日から平成30年12月31日までの会計監査について

(監事監査意見)

収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財政状態を正しく示していると認める。事業は適切に執行していると認める。

(2) 会計事務所による会計訪問指導 (実施者：税理士法人さくら総合会計)

<法人本部>

第1回 平成30年4月20日
第2回 平成30年5月15日
第3回 平成30年7月31日
第4回 平成30年10月22日
第5回 平成31年1月22日
第6回 平成31年3月12日

<ほっとす>

第1回 平成30年4月19日
第2回 平成30年5月15日
第3回 平成30年7月31日
第4回 平成30年10月23日
第5回 平成31年1月21日
第6回 平成31年3月11日

(3) 社会福祉法人指導監査

社会福祉法（昭和26年法律第45号）第56条第1項の規定に基づき、社会福祉法人に係る指導監査を受けました。

と き	平成31年2月21日（木）13時30分～14時50分
と ころ	千歳市社会福祉協議会 会議室2.3
実 施 者	千歳市保健福祉部福祉課長ほか担当者1名
指導監査対象	法人運営について
指導監査結果	指摘事項なし

事業の実施状況

基本計画 1 つながり、支え合うまちづくり

1. 身近な地域住民による支え合いと支援を必要とする人へのネットワーク活動の推進

地区の民生委員児童委員協議会の例会や研修会等の参加をとおして、相互の情報共有とネットワークの強化を図りました。

(1) 民生委員児童委員との連携

ア 千歳市民生委員児童委員連絡協議会総会

と き 平成 30 年 4 月 18 日

会 場 北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）

出席者 会長

イ 地区民生委員児童委員協議会例会

と き 5 月 1 日（第 8 地区）、5 月 6 日（第 2 地区）、5 月 8 日（第 1・4・11 地区）、
5 月 9 日（第 6・10 地区）、5 月 10 日（第 5・9 地区）、5 月 12 日（第 7 地区）、
6 月 6 日（第 9 地区）7 月 7 日（第 3 地区）（11 回）

会 場 福祉センター、富丘コミュニティセンター、中心街コミュニティセンター、花園
コミュニティセンター、鉄東コミュニティセンター、祝梅コミュニティセンター、
北桜コミュニティセンター、泉沢向陽台コミュニティセンター、桂木町内会館、
信濃連合町内会館、新川公民館

出席者 事務局

ウ 千歳市民生委員児童委員連絡協議会会長会

と き 平成 30 年 5 月 16 日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

出席者 事務局

エ 民生委員等と連携した相談支援

生活福祉資金債務者に対し、民生委員と連携して自立に向けた相談支援を行いました。

(2) 地域福祉懇談会の開催

福祉ニーズや生活課題の把握、情報交換等を目的に参加町内会の拡大を図りながら、小地域福祉活動について理解する機会として地域福祉懇談会を開催したほか、町内会等が主催する懇談会に参加しました。

ア 開催及び参加回数 56 回

イ 町内会参加状況 53 町内会・自治会

ウ 開催及び参加状況（情報交換、生活支援コーディネーター・地域包括支援センター紹介）

① 西区圏域（7 回/6 町内会）

- ・桜木町内会福祉委員会（1 回）
- ・自由ヶ丘町内会福祉委員会（1 回）
- ・信濃 2 丁目町内会（1 回）

- ・サロンマップ作成会議（4回/3町内会）
- ② 東区圏域（7回/26町内会）
 - ・稲穂町内会（1回）
 - ・青葉6丁目町内会（1回）
 - ・鉄東コミュニティ協議会福祉懇談会（1回/19町内会）
 - ・サロンマップ作成会議（4回/5町内会）
- ③ 北区圏域（5回/8町内会）
 - ・富丘コミュニティ協議会福祉研修会（1回/7町内会）
 - ・サロンマップ作成会議（4回/1町内会）
- ④ 南区圏域（4回/6町内会）
 - ・南区地域ケア会議（1回/3町内会）
 - ・サロンマップ作成会議（3回/3町内会）
- ⑤ 向陽台区圏域（33回/7町内会）
 - ・若草町内会福祉委員会（5回）
 - ・白樺町内会福祉委員会（7回）
 - ・里美町内会福祉委員会（5回）
 - ・柏陽町内会福祉委員会（6回）
 - ・福住町内会福祉委員会（2回）
 - ・文京町内会福祉委員会（2回）
 - ・向陽台地域福祉懇談会（2回/7町内会）
 - ・サロンマップ作成会議（4回/7町内会）

エ 参加状況の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度
実施・参加回数（回）	55	56
参加町内会数（延べ）	40	53

(3) 町連・民児連協・老連・共募・社協との五者懇談会の開催

千歳市町内会連合会、千歳市民生委員児童委員連絡協議会、千歳市老人クラブ連合会、千歳市共同募金委員会、千歳市社会福祉協議会の五者による懇談会を開催し、五者相互の情報共有とネットワークの強化、協働事業を進めました。

ア 孤立化防止啓発用チラシ配付

配付先 町内会、福祉委員、民生委員児童委員、老人クラブ、各種研修会参加者等
配付枚数 約 240 枚

イ 町内会費納入票の配付

配付先 86 町内会
配付枚数 約 22,000 枚

ウ 救急カード【改訂版】の配付

配付町内会 108 町内会
配付枚数 28,721 枚

エ 五者懇談会

内 容 テーマ「地域共生社会とは？我が事・丸ごとの仕組みづくり」

講 師 北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課長 町田 真俊 氏
各団体の事業推進に向けた連携・協力について

と き 平成 31 年 3 月 12 日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

出席者 各団体正副会長、市保健福祉部長、事務局

(4) 関係機関、福祉施設、福祉団体、市民団体等との連携強化

市内の保健・医療・福祉・まちづくり等に関する会議や行事に参加し、連携強化を図りました。また、団体事務局業務をとおして福祉団体との連携強化を図りました。

ア 千歳市障がい者地域自立支援協議会

と き 平成 30 年 11 月 30 日、平成 31 年 2 月 19 日（2 回）

内 容 障がい者自立支援策協議

出席者 事務局 1 名

イ 千歳市障がい者地域自立支援協議会子ども部会

子ども部会 平成 30 年 4 月 26 日、6 月 21 日、8 月 23 日、10 月 18 日、12 月 20 日
(5 回)

レッツスマイル（夏企画）8 月 11 日（冬企画）1 月 12 日

内 容 障がい児支援協議、長期休暇対策事業の実施

出席者 事務局 1 名

ウ 千歳市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議（市主催事業）

と き 平成 31 年 2 月 21 日

内 容 高齢者・障がい者の虐待防止策協議

出席者 事務局 1 名

オ 事務局所管団体の会議研修会等

回 数 58 回

内 容 役員会、総会、実施事業研修会等への出席

出席者 事務局担当職員 1～2 名

(5) 福祉団体への活動支援

福祉団体の設立や運営の相談に随時対応したほか、公的補助を受けていない団体の活動費を助成するなど、支援を行いました。

ア 障がい者及び障がい児福祉活動助成金

障がい者及び障がい児を含む当事者団体に対し、団体の組織強化と活動支援を目的に活動費を助成しました。（13 団体：805,000 円）

イ 共同募金活動の協力（千歳市共同募金委員会事務局業務）

- ・「赤い羽根共同募金運動」「歳末たすけあい募金運動」の推進に努めました。
- ・募金の目的、目標額、使途等について社協広報誌において PR しました。

ウ 身障者福祉活動への協力（千歳身体障害者福祉協会事務局業務）

- ・事務局業務を遂行し、身障者福祉の向上に努めました。

- ・身障者の福祉を向上させる各種の事業に積極的に参加しました。
 - ・自主収益事業など積極的な協会活動を側面から支援しました。
- エ 戦没者遺族への協力（千歳市遺族会事務局業務）
- ・各種慰霊行事に参加しました。（北海道遺族大会、北海道護国神社例大祭、札幌護国神社例大祭、北海道戦没者追悼式、千歳市戦没者追悼式）
 - ・会員相互の連携と親睦を図りました。
 - ・組織の強化と活動充実に努めました。
- オ 赤十字活動の協力（日赤千歳市地区事務局業務・赤十字奉仕団業務）
- ・博愛、人道の精神の普及に努め、心豊かなまちづくりのため、各種事業を展開しました。
 - ・社員（社資）の募集に努め、活動基盤の確立を図りました。
 - ・各奉仕団の育成に努め、赤十字思想の普及を図りました。
 - ・市内で活動する6つの奉仕団の連携を推進する「千歳市地区赤十字奉仕団連絡協議会」の活動を支援しました。

（6）福祉委員活動の推進

ア 新任福祉委員研修会

今年度新たに委嘱した新任福祉委員を対象に、その役割や活動について理解する研修会を開催しました。

と き 平成 30 年 6 月 15 日

会 場 千歳市総合福祉センター

出席者 30 名

内 容 事業説明「福祉委員活動について」
 事業紹介「生活支援コーディネーターについて」
 グループワーク「安心して暮らせる地域を考えてみよう」

イ 福祉委員活動リーフレットの配付

新任福祉委員及び福祉委員活動未実施地区に配付し福祉委員活動の啓発を図りました。

ウ 福祉委員共通名札の配付

新任福祉委員に福祉委員共通名札を配付し、活動時に着用することで住民へ福祉委員の周知を図りました。

エ 福祉委員設置の推移

年度	平成 29 年度	平成 30 年度
設置町内会数	105	107
福祉委員数（人）	868	896
新規設置地区（町内会）	1	2

（7）救急カード事業の推進

救急カードの利用について、適切な記載・設置の普及を図り、緊急時に確実に利用できるよう医療機関、消防本部等と共同制作した改訂版カードを配布したほか、町内会を対象にした説明会等の開催を通して新たに9町内会が参加し町内会の拡大に努めました。

ア 実施状況

① 実施町内会推移

年度	平成 29 年度	平成 30 年度
町内会数	125	134
普及率	85.6%	91.8%

イ 救急カードの使用状況

① 使用件数及び搬送種類

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度
使用件数	14	12
使用 町内会数	12	10

②救急カードの取扱方法

取扱方法	医療機関へ引継	本人・家族へ返却	その他
件数	5	7	0

ウ 普及・啓発

救急カードの設置確認や記載内容の更新に係る呼びかけ事例等を掲載したリーフレットを配付したほか、希望する町内会に説明会を開催して情報共有と普及啓発を図りました。

説明会の開催

と き 平成 30 年 6 月 15 日、6 月 16 日、7 月 10 日（3 回）

町内会 信濃連合町内会館、青葉 6 丁目町内会館、稲穂町内会館

出席者 町内会長、福祉委員、民生委員児童委員、住民

エ 救急カード様式（改訂版）の配付**拡充**

配付町内会 108 町内会

配付枚数 28,721 枚

(8) 千歳地域 SOS ネットワーク事業の推進**拡充**

認知症や障がいのある方の行方不明による最悪な事態を防ぐために、早期に発見・保護するネットワークの推進に努めたほか、ネットワークの協力体制の強化を図るために行方不明高齢者等搜索模擬訓練を実施しました。

また、平成 30 年 3 月から、夜間及び休日に稼働する団体の協力を得て、夜間及び休日の搜索を新たに開始し、前年度比 23 件増の 26 件（うち夜間及び休日は 16 件）の行方不明に対し搜索の協力を行いました。

ア 千歳地域搜索ネットワーク運用状況

①対応方法別

平日日中	夜間及び休日	合計
10 件	16 件	26 件

②発見状況別

期 間	件数	発見者（人）					本人 帰宅	未 発見
		警察官	家族	関係者	その他	発見時 死亡		
H30年4月 ～H31年3月	26	13	2	2	1	1	6	1
H20年7月 ～H30年3月	62	25	3	0	14	3	15	5
合 計	88	38	5	1	15	4	22	6

イ 運営協議会委員の状況

種 別	企業	福祉関係 機関	医療機関	福祉関係 団体等	行政機関	合計
運営協議会委員	72	59	7	7	4	149

ウ 運営協議会委員数の推移（H29～H30年度）

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度
委員数	149	149

※新規登録：2か所、登録解除：2か所（解除理由～事業所の閉鎖）

※夜間及び休日の協力団体数 43か所

エ 役員会

と き 平成 30 年 6 月 25 日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

出席者 役員 15 名

内 容 平成 29 年度事業報告、平成 30 年度事業計画

オ 運営協議会

と き 平成 30 年 7 月 31 日

会 場 北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）

出席者 29 名（29 団体）

内 容 平成 29 年度事業報告、平成 30 年度事業計画

カ 研修会

と き 平成 30 年 7 月 31 日

会 場 北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）

出席者 112 名

内 容 テーマ「認知症の人が安心、安全に暮らせる地域づくり」

話し手 千歳 認知症の人を支える家族の会 会長 青柳 薫 氏

佐々木 八重子 氏

ロールプレイ「認知症の人に対する声かけ対応の方法について」

講師 認知症地域支援推進員 作田 直人 氏、吉田 肇 氏

キ 事前登録制度の推進

行方不明の早期発見を目的に、本人情報を事前に登録する制度の普及を図り、緊急時の備えとしました。

平成 30 年度新規登録者数 39 名（総登録者数 188 名）※前年度新規登録者：33 名

ク 行方不明高齢者等搜索模擬訓練の実施

認知症等の人が行方不明になったという設定のもと、地域 SOS ネットワークを活用して、「通報～連絡～搜索～発見・保護」の情報伝達の流れ及び声掛けを訓練しました。胆振東部地震の影響により日程を変更したことから参加者が当初の予定の 3 割にとどまりました。また、訓練の様子を映像で記録し、認知症の理解と地域の見守りや連携の重要性を啓発する PR 動画（約 17 分間）を作成し、ホームページ等で啓発活動を行いました。

と き 平成 30 年 10 月 19 日

場 所 千歳市社会福祉協議会会議室、東雲町 1・2 丁目及び朝日町 1・4 丁目周辺

参加者 9 名（6 団体）

ケ 夜間及び休日の搜索拡大

夜間や休日に行方不明になる事案が増えていることから、夜間及び休日の搜索協力に、同意を得た団体には千歳警察署から直接依頼する方法をとり、夜間及び休日の搜索拡大を図りました。

夜間及び休日の協力団体数 43 団体

夜間及び休日のネットワーク発動状況 16 件

コ 広報・啓発

行方不明となっている方の情報を電子メールで配信する千歳市メール配信サービス「未帰宅者情報」の登録について、運営協議会委員等に周知し、早期発見・保護に向けた利用促進と協力者拡大に努めました。

(9) 千歳地域見守りネットワーク事業の推進 **重点事項**

高齢者等の見守りを強化するため、新聞販売、郵便等の配達業務を行う事業者等との連携によるネットワークを構築し、ゆるやかな見守りによる安否確認と安否確認を通じた早期の問題発見対応に努めました。

ア 協力事業者の状況（前年度比 1 事業者増）

	企業	福祉関係機関	医療機関	福祉関係団体等	行政機関	合計
協力事業者	27	36	6	7	4	80

イ 事前登録制度の推進

平成 30 年度新規登録者 4 名（総登録数 8 名）

ウ 広報・啓発

地域見守りネットワーク活動の手引きを運営協議会委員や町内会、民生委員児童委員へ配付し、事業の周知・啓発及び協力事業者の拡充に努めました。

エ 役員会、運営協議会、研修会

「(8)千歳地域 SOS ネットワーク事業の推進」に別掲

(10) 小地域福祉ネットワーク活動の推進

福祉委員を配置し、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目的とする「小地域福祉ネッ

トワーク活動」に取り組む町内会へ助成金を交付しました。

① 実地地区 93 町内（自治）会

② 助成金総額 4,039,000 円

③ 実施地区及び助成額の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度
町内会数（件）	91	93
助成金額（千円）	3,907	4,039

(66) 社会福祉法人ネットワーク懇話会・千歳の推進**拡充**

市内の社会福祉法人が連携して地域公益活動の取り組みを進めました。

・社会福祉法人ネットワーク懇話会・千歳構成団体

千歳洋翔会、千歳いずみ学園、恵愛会、千歳福祉会、千歳社会福祉協会、晃裕会

千歳市社会福祉協議会（7 法人）

ア 地域福祉権利擁護体制構築に向けた法人・施設による福祉サービス利用援助事業（2 法人）

イ 地域における公益的な取組を考える学習会

と き 平成 30 年 10 月 5 日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

出席者 25 名（12 法人）

内 容 講演「地域における公益的な取組について～地域における公益的な取組の意義と、法人連携による取り組みのすすめ～」

ウ 社会福祉法人ネットワーク懇話会・千歳

と き 平成 31 年 2 月 25 日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

出席者 11 名（5 法人）

内 容 意見交換「千歳市内の社会福祉法人が連携した地域公益活動について」

講演「働き方改革の求めるものと福祉業界における具体的対策について」

2. ボランティアセンター機能の強化とボランティアの育成・活動支援

(11) 災害ボランティア本部の充実を含むボランティアセンター機能の強化**重点事項**

ア ボランティア活動の調整、相談

ボランティアの登録及び斡旋、ボランティア活動上の相談等について、ボランティアアシスタントが随時相談に応じ、ニーズに応じて需給調整を行いました。

① ボランティア登録状況

	平成 29 年度（*新規登録）	平成 30 年度（*新規登録）
個人登録ボランティア	328 名（65 名）	571 名（295 名）
登録グループ	108 団体（8 団体）	121 団体（20 団体）

※継続意向確認の調査を実施し、団体・個人ボランティア名簿の整理を行った。

②ボランティア依頼件数、活動人数（延べ）

	個人	団体	合計
活動件数	3,583	149	3,732
活動人数	3,956	544	4,500

③登録ボランティア活動状況（個人・団体）

活動場所・依頼先		活動内容	活動件数			活動人数		
			個人	団体	合計	個人	団体	合計
保 育	千歳市こども通園センター	保 育	6	—	6	14	—	14
	〃（青い鳥）	〃	13	—	13	16	—	16
	千歳市健康課母子健康係	〃	7	—	7	8	—	8
	ちとせ緑の財団	〃	1	—	1	1	—	1
	千歳市企画部市民協働推進課	〃	3	—	3	3	—	3
	みんなをつなげる会	〃	1	—	1	1	—	1
福 祉 関 連 施 設	介護老人保健施設北星館	趣味・余興	29	122	151	29	440	469
	介護老人保健施設アトライフ恵庭	趣味・ネイル	5	3	8	11	6	17
	介護老人保健施設クリアコート千歳	趣味・余興	—	2	2	—	8	8
	新富デイサービスセンター	〃	167	—	167	196	—	196
	祝梅デイサービスセンター	〃	132	—	132	204	—	204
	千歳病院	〃	—	10	10	—	49	49
	デイハウスえみな	〃	3	—	3	3	—	3
	くらしさ千歳	〃	1	2	3	1	2	3
	グループリビングりんごハウス	〃	—	1	1	—	3	3
	NPO 法人フェアリー児童サービスみどり台	〃	1	1	2	1	1	2
	グループホームぬくもりの里	〃	—	1	1	—	3	3
	グループホーム末広大地	〃	—	1	1	—	3	3
	ケアサポートえいぶる	〃	—	2	2	—	8	8
行 事 支 援	介護予防センター	教室支援	38	—	38	76	—	76
	千歳ひまわり会	行事支援	1	—	1	2	—	2
	追分陽光苑居宅介護事業所	〃	1	—	1	1	—	1
	有) ゆうび	〃	—	1	1	—	5	5
	若草町内会	〃	—	1	1	—	5	5
	清流町内会	〃	—	1	1	—	6	6
	北斗町内会	〃	1	—	1	5	—	5
	千歳市内花壇整備	花壇整備	1	—	1	1	—	1
そ の 他	ボランティアセンター土曜開設	土曜支援	46	—	46	92	—	92
	ピンクリボン作成活動	作成活動啓発	24	—	24	104	—	104
	新聞切り抜き	スクラップ	12	—	12	32	—	32

切手整理	仕分け作業	2	—	2	7	—	7
チャリティパークゴルフ交流会	パーク支援	1	1	2	5	5	10
赤い羽根共同募金	募金仕分け	2	—	2	22	—	22
「福祉の授業」支援	授業支援	18	—	18	54	—	54
千歳市きずなポイント事業	話相手等	3,067	—	3,067	3,067	—	3,067
合 計		3,583	149	3,732	3,956	544	4,500

イ ボランティア関連情報の発信

①ボランティアセンター便りの発行

幅広くボランティア活動に対する理解と認識を高めるとともに、活動参加へのきっかけ作りとなるよう広報啓発活動を行いました。また、ボランティアフロアにおいてボランティア関連資料の公開や事業の案内チラシやポスターを作成しました。

・会報紙「今日から、」 5月、7月、9月、11月、1月、3月(年6回)

②ボランティア活動情報掲示板の設置

社協事務所及び公共施設の掲示板等を活用し、ボランティア情報の提供を図りました。

・設置場所 社協事務所、市民活動交流センター、総合福祉センター、コミュニティセンター(11か所)、郵便局(4か所)、図書館、東雲会館、市民ギャラリー、文化センター、スポーツセンター、公民館(24か所)

③ホームページを活用し、ボランティア関連情報を発信しました。

ウ ボランティア保険の加入促進

ボランティア活動中のさまざまな事故による怪我や損害賠償責任の補償の備えとして、活動者に対して、ボランティア活動保険等への加入促進を図りました。

保険種別	件数(件)	申込人数(名)	保険金請求件数(件)
ボランティア活動保険	553	3,043	1
ボランティア行事保険	62	5,273	0
福祉サービス総合補償	10	374	3

エ 関連資料の収集、公開及び各種資機材の貸し出し

ボランティア活動の推進のため、印刷機、視聴覚機材や福祉関係参考図書、ビデオ等の貸出しを行い、活動を側面的に支援しました。

- ①ミーティングテーブル 414件(818人)
- ②メールボックス利用 41団体
- ③印刷機(1台) 302件 ※利用料50円/1製版
- ④図書、ビデオ 1件
- ⑤視聴覚機材 19件
- ⑥血圧計 63件

オ ボランティアセンターの土曜日開設

ボランティアサポーターの協力により、土曜日にボランティアセンターを開設し、ボランティア活動に関する相談をはじめ、印刷機、ミーティングルーム、図書、ビデオ、視聴覚機材の貸出しを行いました。

- ①サポーター人数 13名(男性5、女性8)

②開設回数 48回(祝日を除く土曜日)

③定例会議 6回(偶数月実施)

カ 災害ボランティアセンターの設置・運営訓練の実施^{拡充}

災害千歳市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づく訓練を実施し、大規模ボランティアの重要性を踏まえて、「千歳市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を改訂し、災害の発生に伴うセンター設置の実践に備え、職員の対応力向上を図りました。

また、北海道胆振東部地震災害では、安平町災害ボランティアセンターに10日間延べ14名の職員を派遣し、センターの運営を支援しました。

災害時に災害対策本部を立ち上げる千歳市との緊密な連携を図るため、千歳市総合防災訓練作業部会に出席しました。(実動訓練・図上訓練は、「台風21号」及び「北海道胆振東部地震」の影響により中止)

①千歳市総合防災訓練(実動訓練)

作業部会 (第1回)平成30年6月28日、(第2回)平成30年8月2日、
(第3回)平成30年8月21日

実動訓練 平成30年9月8日※中止

会場 千歳市防災学習交流センター『そなえる』

出席者 (作業部会)事務局1名

②千歳市総合防災訓練(図上訓練)

とき 平成30年11月8日※中止

③災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修会

(苫小牧会場) 平成30年7月19日～20日

(札幌会場) 平成30年10月15日～16日

内容 災害ボランティアセンターの概要と設置意義、災害ボランティアセンターマッチング体験演習

参加者 事務局1名

④石狩地区災害ボランティア組織連携会議

とき 平成30年11月27日

会場 札幌市

内容 災害ボランティア受入体制の整備、平成30年7月豪雨被災地支援を踏まえた災害ボランティアセンターの設置・運営の説明、北海道胆振東部地震発生時におけるボランティアセンター及びNPOの対応について報告、関係団体等による情報交換

参加者 事務局2名

⑤北海道災害ボランティアセンター初期支援チーム研修会

とき 平成30年12月3日

会場 札幌市

内容 初期支援チームの設置経緯、災害ボランティアセンター初動期における外部支援者及び受援社協としての視点についての鼎談(ピースボート災

害ボランティアセンター、宮城県社協、清水町社協)

参加者 事務局1名

⑥千歳市災害ボランティアセンター設置・運営訓練

と き 平成30年12月6日

会 場 千歳市社会福祉協議会事務所2階

内 容 千歳市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づく、センターの役割と業務概要の確認、会場設営、訓練後の検証会議の実施

参加者 会長、事務局9名

⑦平成30年北海道胆振東部地震災害被災地社協への支援

(職員派遣)

と き 平成30年9月11日～9月17日、9月22日～9月24日(10日間)

派遣職員 延べ14名

場 所 安平町災害ボランティアセンター

内 容 住民からのニーズに対するボランティア調整、支援物資の管理、ボランティアへの活動資材貸出と管理、被災者の現地調査など

(資機材の貸出し等)

- ・拡声器2台、コピー機1台を安平町災害ボランティアセンターへ貸出
- ・災害ボランティア活動での腰痛予防に関するプリントを作成し、道社協を通じて、安平町・厚真町・むかわ町災害ボランティアセンターへ提供

キ ボランティア団体への活動費助成

ボランティア活動の推進を図るため、印刷機、視聴覚機材、福祉関係図書及びビデオ等の貸出しを行い支援するとともに、ボランティア団体の組織強化と活動支援を目的に活動費の一部を助成しました。

	平成29年度	平成30年度
グループ数	29団体	32団体
助成金額	349,960円	399,760円

ク ボランティアセンターのランチデー開催 参加者計 149名

ボランティアフロアを会場に、ボランティア同士の仲間づくりや情報交換の場として開催しました。

	第1回	第2回	第3回(中止)	第4回	第5回
・と き	5月24日	7月28日	9月7日	11月16日	2月27日
・内 容	「琴」 出演：生田流 藤の会	「ジュニア大 正琴」 出演：キーハー プくらぶジュ ニア		「講談」 出演：柳澤慶治	「サクソコ ンサート」 出演：兼平隆
・参加者	30名	29名	-名	35名	55名

ケ 無線LAN(Wi-Fi)サービスによるボランティア支援

ボランティアフロアで簡単にインターネットを利用できるよう、無料で無線LAN

(Wi-Fi) サービスを提供し、ボランティアを支援しました。

無線LAN (Wi-Fi) 接続件数 424 件 (前年度 11 ヶ月間 : 266 件)

コ ボランティアシステム機能利用による情報管理

ボランティアの情報管理と事務の効率化を目的に、クラウド版のボランティアシステム機能の利用し、個人・団体登録ボランティア及びボランティア活動保険加入者の情報を管理・運用しました。

サ 他市町村ボランティアセンターと連携した研修等の実施

他市町村で開催されるボランティア研修事業等に参加費を助成するなど、積極的な参加を促すとともに、体験プログラム、研修などを共同で実施しました。

① ボランティア愛ランド北海道 2018in おたる

と き 平成 30 年 10 月 21 日

会 場 小樽市

内 容 講演、分科会

出席者 22 名、事務局 2 名

②石狩地区ボランティアネットワーク協議会

a. 第 1 回石狩地区ボランティア活動推進会議

と き 平成 30 年 6 月 4 日

会 場 札幌市

内 容 石狩地区ボラネット推進事業実施報告、本年度研修会の振り返り
北海道災害ボランティアセンター事業の動きについて

出席者 事務局 1 名

第 2 回石狩地区ボランティア活動推進会議

と き 平成 31 年 1 月 8 日

会 場 札幌市

内 容 石狩地区ボラネット推進事業実施報告、胆振東部地震の対応について

出席者 事務局 1 名、役員 1 名

b. 石狩地区ボランティアネットワーク協議会スキルアップ研修会

と き 平成 30 年 7 月 11 日

会 場 新篠津村自治センター

内 容 新篠津村ボランティア協議会・ボランティア団体の紹介、情報交換、交流

出席者 11 名、事務局 2 名

(12) ボランティアの各種研修・講座の開催

市民の意識向上、活動推進のための研修を開催し、幅広い年代が福祉に触れる機会をつくることで各分野への理解とボランティア活動促進を図りました。

ア ボランティア研修会

と き 平成 30 年 7 月 28 日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

内 容 講話「ボランティアを始める心構え～支え合いの輪を広げるために～」

体験「車椅子体験・高齢者疑似体験」

講師 ちとせの介護医療連携の会わかばの会

参加者 14名

イ 1日ボランティア体験学習事業

夏休みの期間を利用して、小中高校生を中心に幅広い層の市民が子育て、高齢者、障がい者支援施設等において、一日ボランティア体験型の事業を実施しました。

体験期間 8月1日～31日（実施日数23日）

協力施設・団体 17施設・1団体(受入16施設・1団体)

①子育て支援施設（協力施設：5施設）

住吉認定こども園、第2住吉保育園、アリス認定こども園、向陽台保育園、認定こども園北陽幼稚園・第2北陽保育園

②障がい者支援施設等（協力施設：6施設・1団体）

障がい者支援センターめいぷる、障がい者支援センターキラリ、障がい者支援施設いずみ、アシストセンターちえりす支援センターゆみな、いずみワークセンター、ぱすてる、千歳視覚障害者福祉協会

③高齢者支援施設等（協力施設：6施設）

小規模多機能ホームえみな ままちの家、特別養護老人ホーム暢寿園、デイハウスえみな、特別養護老人ホームやまとの里、新富デイサービスセンター、祝梅デイサービスセンター

参加者 56名（延べ92名：小学生1名、中学生2名、高校生78名、専門・大学生11名、）

ウ 防災ボランティアリーダー養成研修会

千歳市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを改訂し、防災ボランティアリーダーの位置づけ及び任務をボランティア班が行うニーズ調査への協力として明確化するとともに、災害時に設置する千歳市災害ボランティアセンターの運営を支援する協力者の増員を図りました。

と き 平成31年3月7日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

内 容 基調説明「災害ボランティアセンターの概要と北海道胆振東部地震災害による北海道社会福祉協議会の対応について」

説明者 坂本 豊 氏（北海道社会福祉協議会 市民活動担当課長）

報告 「安平町災害ボランティアセンターの運営支援に携わって」

説明 「千歳市災害ボランティアセンターの設置・運営について」

報告・説明者 事務局

参加者 26名（防災ボランティアリーダー新規登録6名、累計登録者数37名）

エ 移送介助サービスボランティア研修会

移送介助サービスに係るボランティアを対象に、移送介助に必要な知識と心構えについての研修会を行いました。

と き 平成30年5月24日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

内 容 講義「交通安全について」

講師 山本 洋平 氏 (一般社団法人日本自動車連盟札幌支部)

参加者 11名

オ ボランティアサポーター研修

ボランティアセンター土曜日開設に係るボランティアサポーターを対象に、コーディネート業務を担う人材の資質向上を目的に研修を実施しました。

と き 平成30年9月28日

研修先 洞爺湖ビジターセンター

内 容 2000年有珠山噴火当時の被害状況から災害を防ぐ知識を学ぶ

参加者 11名、事務局1名

(13) 福祉教育の推進

ア ボランティア体験学習授業の実施協力

ボランティア体験学習事業を計画する小学校、中学校に対して、体験学習の内容の提案、講師の調整及び福祉用具の貸し出し等の支援を行いました。

①実施校 小学校：14校、中学校：3校、高等学校：2校

②実施回数 54回(延べ)

③時間数及び参加人数 120時間、3,471名(延べ)

④授業内容

授業内容	実施校名	実施回数 (延べ)	講師	時間 (計)	参加人数 (生徒)
手話体験	[小学校] 祝梅、末広、北進、日の出、緑、第二、北陽、泉沢、桜木 [中学校] 北進、富丘、北斗	13	千歳聴力障害者協会	27	879
視覚障がい者ガイドヘルプ体験	[小学校] 第二、祝梅、緑、東、泉沢 [中学校] 富丘	6	千歳視覚障害者福祉協会	14	400
サウンドテーブルテニス体験	[小学校] 末広、祝梅、東 [中学校] 北斗 [高校] 北陽	7	千歳視覚障害者福祉協会	18	277
車いす乗車・介助体験	[小学校] 祝梅、末広、千歳、北栄、第二、 [中学] 北斗	6	濁沼 勇氏 千歳リハビリテーション大学	14	335
車いすサッカー体験	[小学校] 向陽台小 [中学校] 北斗	2	電動車いすサッカーチーム freecrew (フリークルー)	4	55

点字体験	[小学校]日の出、祝梅、北陽 [中学校]富丘、北斗	6	佐藤 徹氏	16	464
高齢者疑似体験	[小学校]祝梅、緑、信濃、 [高校]千歳高等支援	4	千歳認知症の人を支える 家族の会(はまなすの会)	7	222
認知症サポーター 養成講座	[小学校]祝梅、緑、北陽、信濃 [中学校]富丘 [高校]北陽	6	千歳市介護予防センター 認知症キャラバンメイト	13	538
ボッチャ体験	[小学校]緑、桜木、 [高校]北陽	3	千歳身体障害者福祉協会	6	209
福祉導入講話	[中学校]北斗	1	ちとせの介護医療連携の 会 わかばの会	1	92

⑤児童・生徒のボランティア体験学習支援事業

ボランティア体験学習事業を実施する学校5校より申請があり、助成金の支給を行い支援しました。 助成額：51,655円

	学校名	助成額(円)
小学校(4校) 小中併設校(1校)	日の出小学校	10,205
	緑小学校	20,000
	北陽小学校	10,450
	泉沢小学校	5,000
	北進小中学校	6,000

イ 福祉の授業支援ボランティア養成講座

と き 平成31年1月15日、17日、22日(3日間)

会 場 千歳市総合福祉センター、東小学校、泉沢小学校

内 容 視覚障がい者ガイドヘルプ体験、サウンドテーブルテニス体験、福祉の授業支援

受講者 15名

ウ 福祉の授業支援講師養成講座 **新規**

と き 平成31年1月18日、22日、25日(3日間)

会 場 千歳市社会福祉協議会事務所、北陽小学校

内 容 点字体験

受講者 13名

3 地域福祉への理解と住民参加

(14) 小地域福祉活動研修会の開催

生活支援体制整備事業の一環として、町内会等による住民主体のサロン活動を紹介し、住民参加の介護予防の取り組みや様々な担い手による支援体制を考える機会として地域づ

くり交流会を開催しました。

※(67)生活支援コーディネーター業務【市受託事業】に別掲

(15) 地域福祉フォーラムの開催

千歳市との共催により、多くの市民に地域福祉の考え方について理解いただくとともに、身近な地域での支え合いのあり方について話し合う機会として開催しました。

と き 平成30年11月18日

会 場 北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）

参加者 331名

内 容 講演「地域の健康づくり」

講師 清水 宏保 氏

（長野オリンピック金メダリスト、北海道千歳リハビリテーション大学客員教授）

主 催 ちとせ地域福祉フォーラム実行委員会

構成団体 千歳市町内会連合会、千歳市民生委員児童委員連絡協議会、千歳市老人クラブ連合会、千歳市共同募金委員会、千歳市、千歳市社会福祉協議会

後援団体 千歳市教育委員会、千歳身体障害者福祉協会、千歳市女性団体協議会、日本赤十字社北海道支部千歳市地区、千歳市赤十字奉仕団、千歳市保護司会、千歳市遺族会

実行委員会 第1回：平成30年8月29日

第2回：平成30年11月1日

(16) 障がい者、高齢者等の自立・社会参加の促進

ア ふれあい広場事業

と き 平成30年12月9日

会 場 千歳市総合福祉センター

内 容 落語家・手話落語 林家とんでん平 手話落語&講演会

テーマ「笑って深まれ福祉の和」

講師 落語家 林家とんでん平 氏

参加者 95名

イ ふれ愛デーチャリティパークゴルフ交流会

障がい者の参加を呼びかけ交流を深めていただくことを目的に開催しました。

と き 平成30年6月29日

会 場 リバーサイドパークゴルフ場

来場者 215名 ※前年度比100名減

（競技及び自由開放参加者 135名、うち障がいのある方 20名）

ウ “だれにでも優しい新千歳空港” バリアフリー観光の受入れを考える会講演会

と き 平成30年11月4日

会 場 千歳市社会福祉協議会 会議室

講 師 親川 修 氏（NPO法人バリアフリーネットワーク会議 理事長）

共 催 一般社団日本UD観光協会

(17) さまざまな機関・団体等による地域交流の促進

地域福祉に関わる各種事業やイベント支援をとおして、様々な機関・団体等による地域交流を進めました。

ア 千歳市ボランティアセンター交流会

と き 平成 31 年 2 月 27 日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

内 容 交流会「元氣アップ大作戦！～ココロとカラダを整える～」

講師 塩谷 隆治氏（笑華尊塾）

参加者 62 名

基本計画 2 安心して暮らせるまちづくり

4 福祉サービスで安心できる暮らし

(18) 福祉機器をリサイクルし貸出す事業

福祉機器を必要としていながらも公的給付・貸与の対象とならない、または公的給付を受けるまでに時間を要する方を対象に、家庭で不要になった福祉機器をリサイクルして貸出しを行い、在宅介護の軽減を図りました。

ア 貸出・寄贈実績

品 目	貸出件数	貸出台数	寄贈受入台数
1. 車 い す	241	362	6
2. 介護ベッド	29	29	1
3. ポータブルトイレ	23	23	1
4. 歩 行 器	24	24	1
5. そ の 他	15	20	1

イ 車いす点検整備

と き 平成 30 年 8 月 1 日

協 力 札幌地方自動車整備千歳地区協議会、全日本ロータス同友会、
堀自転車商会 16 社（20 名）参加

整備台数 47 台

(19) 高齢者の自宅へ訪問し安否を確認する事業

一人暮らしの高齢者及び高齢者世帯を対象に訪問活動員が安否の確認、生活相談及び介護サービスなどの情報提供を行います。また、対象者の身体状況などから、必要に応じて家族への連絡又は必要な支援を受けることができるよう地域包括支援センターなどの公的機関へ連絡します。

・対象世帯数 6 世帯

・訪問件数 45 件

(20) 自宅訪問により家事を支援する事業

介護保険サービスなどでは対応が難しい通院などの外出時の同行介助、短時間の家事援助や、介護保険に係る限度額を超えた支援を行うなど利用者ニーズに対応し低価格なホー

ムヘルプサービスを提供しました。

- ・実利用者人数 42名 (前年度比：△4名)
- ・延提供時間 537.25時間 (前年度比+50.75時間)

活動回数

【単位：回】

家事援助					身体介護		計
調理	洗濯	買物	掃除	他	付添	入浴等	
0	1	5	231	4	91	87	419

(21) 福祉事業の調査事業

平成30年度介護保険報酬改正内容の把握に努め、利用者に対し適切な説明に努めるとともに、新たな制度に適切に対応しサービスの質向上に繋げるための業務改善に努めました。

また、本会在宅サービスの利用者アンケートを行い利用者ニーズの把握とサービス内容の改善に努めました。

(22) 布団クリーニングサービス事業

日常において洗濯することが困難な寝具を清潔に保ち、快適な生活を過ごしていただくことを目的に、3枚一組による布団クリーニングを実施しました。

なお、ふとんの洗濯業務は業者に外注しております。

- ・実利用者人数 29名 (前年度比：3名減)
- ・延利用件数 35件 (前年度比：1件減)

(23) 調理教室事業

調理経験が少ない高齢者や栄養の知識を学びたい高齢者の方などに、適切な栄養の摂取と楽しい調理をテーマとした手軽なメニューによる調理を経験していただきました。また、参加者同士の交流及び食事の栄養バランスについて学べる楽しめる調理教室の実施に努めました。

- ・実施回数 3回
- ・参加者人数 49名 (前年度比：11名増)

(24) 大掃除サービス事業

介護保険サービスでは対応できない換気扇、コンロ周辺などの台所回り、外構の整備などの大掃除を行い、衛生面に留意した清潔で快適な在宅生活が送れるよう支援を行いました。

- ・利用者人数 3名
- ・延利用時間 6.75時間 (前年度比：19.5時間の減)
- ・活動回数 4回

(25) 日帰りバス旅行サービス事業

外出好きな方、身体状況から外出することが困難な方などを対象に、参加者同士の交流や社会参加を目的とした、施設見学、買い物、車内レクリエーション、レストランでの昼食などによる日帰り旅行を実施しました。

- ・札幌円山動物園 参加者 22名
- ・登別マリンパークニクス 参加者 15名 計 37名 (前年度比：9名増)

(26) 移送介助サービス事業【市受託事業】

外出の際の移動手段の確保が困難な方を対象に、社会参加を目的とした移送介助サービスを提供し、外出を支援しました。

ア 利用対象者 在宅の身体障がい者

イ 移送用車両 ハンディキャブ1台〔リフト付き車両1台〕

ウ 利用登録者 30名

エ 移送介助ボランティア 26名（男性23名／女性3名）

オ サービス実施（派遣）状況

年度別	平成29年度	平成30年度	増減
派遣回数	184	178	△6
派遣ボランティア数(延)	325	297	△28
派遣職員数(延)	50	62	12
派遣ボランティア実人数	189	182	△7

(注1) 片道で1回、1往復で2回の実績として数えます。

(注2) 職員の派遣については予定していたボランティアに欠員が出た時のみ対応

カ 移送先内訳

派遣件数	福祉施設	社会参加活動	その他
129	44(34.1%)	7(5.4%)	78(60.5%)

※派遣件数は派遣回数と違い、片道・往復に関係なく、提供したサービスの利用者数を指し、1人につき1件として算出しています。

キ 運行状況

車種	定員	年間走行距離数	累計走行距離数
キャラバン	10人乗	3,565km	76,962km

ク ハンディキャブの貸出事業

外出時に車いす及びストレッチャーを必要とする高齢者、障がい者等の社会参画の促進を図るため、ハンディキャブの貸出しを実施しました。

・貸し出し実績 5件（5個人）

(27) 手話、要約筆記による意思疎通支援事業【市受託事業】**拡充**

聴力に障がいのある方や、手話を習得していない聴覚に障がいのある方とのコミュニケーションを円滑にするため、手話通訳者及び要約筆記者を派遣しました。また、5月から専従手話通訳者1名から2名体制に増員され、社会福祉協議会に配置されました。

ア 手話通訳者派遣事業

①手話通訳者数 11名：専従手話通訳者2名（前年度1名増）

登録手話通訳者9名（前年度5名減）

②手話通訳依頼件数

	平成29年度	平成30年度	増減
依頼件数	265	368	103
実利用者数	54	64	10

③手話通訳者派遣状況（延べ派遣人数・派遣時間数）

派遣内容・区分	専従通訳者		登録通訳者		合 計		比較 増減
	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
1 生命、健康、医療保健関係	18	25	60	66	78	91	13
2 司法関係	0	0	0	0	0	0	0
3 児童等の教育、保育関係	14	15	8	9	22	24	2
4 労働、雇用関係	9	46	18	15	27	61	34
5 地域、住宅関係	2	5	4	2	6	7	1
6 人間関係	0	0	0	0	0	0	0
7 文化、教養関係	9	30	21	32	30	62	32
8 社会生活関係	52	90	138	88	190	178	△12
9手話の普及啓発に関すること	0	28	0	16	0	44	44
10. その他市長が認めるもの	21	0	10	0	31	0	△31
合計派遣件数（人）	125	239	259	228	384	467	83
合計派遣時間（h）	291	471	724	481	1,015	952	△63

④窓口対応数（専従手話通訳者）

窓口対応数	平成29年度	平成30年度	増 減
件 数	169	185	16

⑤千歳市手話講座初級課程（全18回）

と き 平成30年6月18日～11月19日（毎週月曜日）
 会 場 千歳市社会福祉協議会会議室
 受講者 25名（修了者19名）※前年度修了14名
 内 容 手話奉仕員養成テキスト「手話で学ぼう手話で話そう 前半」使用

⑥千歳市手話講座中級課程（全23回）

と き 平成30年6月14日～11月29日（毎週木曜日）
 会 場 千歳市社会福祉協議会会議室
 受講者 18名（修了者12名）※前年度修了22名
 内 容 手話奉仕員養成テキスト「手話で学ぼう手話で話そう 後半」使用

⑦千歳市手話講座上級Ⅰ課程（全32回）

と き 平成30年5月8日～平成30年12月18日（毎週火曜日）
 会 場 千歳市社会福祉協議会会議室
 受講者 17名（修了者12名）※前年度上級Ⅱ修了8名
 内 容 手話通訳者養成講座「手話通訳Ⅰ」テキスト使用

⑧石狩振興局地区専任手話通訳者連絡会議

と き 5月16日、7月18日、9月19日、11月21日、1月16日、3月20日
 会 場 管内各市持ち回り
 内 容 地域の意思疎通支援事業について、中間報告書の作成について、日常業務を通しての意見及び情報交換など

⑨手話通訳者特殊健康診断

と き 10月15日、10月17日、10月25日、10月29日、10月31日、11月5日、
 12月6日、1月30日、2月13日
 受診施設 社団法人北海道勤労者医療協会 勤医協札幌病院
 受診者 11名（専従手話通訳者2名、登録手話通訳者9名）
 受診結果 A判定（所見軽微）1名、B1判定（経過観察及び要注意）9名、B2判定（要注意）1名、

⑩千歳聴力障害者協会と千歳市社会福祉協議会の懇談会

と き 平成30年5月14日
 会 場 千歳市社会福祉協議会会議室2.3
 内 容 平成29年度実績報告、平成30年度事業計画、意見交換
 参加者 千歳聴力障害者協会7名、社協職員4名

⑪千歳市登録手話通訳者研修会

回	と き	会 場	参 加 者				内 容
			登録 通訳者	登録要約 筆記者	聴力 障協	職員 等	
第1回	4月20日	社協事務 所会 議室2.3	8	—	—	2	・29年度実績報告 ・30年度事業計画案 ・意見交換
第2回	年6月11日		6	1	3	6	・健康学習会 「認知症予防についての講演・脳トレ」
第3回	7月9日	社協事務 所会議室 1	7	—	1	1	・通訳実技練習 「千歳市手話言語条例の手話表現」
第4回	9月14日	社協事務 所会 議室 2.3	6	—	—	2	・道外研修報告会 「全通研集会沖縄」報告者1名
第5回	10月12日		7	—	2	2	・手話通訳テキスト Ⅲ「手話通訳実習1 実習前学習」
第6回	11月13日		5	—	2	2	・実技学習 「式典・講演会等舞台上の通訳」
第7回	12月10日		5	—	2	2	・事例検討・ロールプレイ 「会議での手話通訳」

⑫千歳市登録手話通訳者・登録要約筆記者合同研修会

- と き 平成30年 5月27日
 会 場 千歳市社会福祉協議会事務所（会議室2・3）
 参加者 手話通訳者6名、要約筆記者6名、聴力障害者協会3名、事務局2名
 (1) 内 容 講演「手話と要約筆記の出会いから学んだこと」
 講 師 手話通訳士・要約筆記者 中村 秀子 氏
 (2) 内 容 手話通訳と要約筆記の振り返り

⑬第51回全国手話通訳問題研究集会～サマーフォーラムin沖縄～

- と き 平成30年 8月17日～19日（専従通訳者1名参加）
 会 場 沖縄県立武道館、沖縄国際大学
 内 容 記念講演、分科会（東京都の手話通訳者等養成事業と独自の手話講座の現状）、手話通訳者等の養成には様々な取組が必要であり、技術面だけではなく、理論学習とのバランスが必要なことを学んだ。

⑭第44回全道ろうあ者相談員・第41回全道専任手話通訳者研修会

- と き 平成30年10月17日～18日（専従通訳者1名参加）
 会 場 道民活動センタービル（かでの2・7）710会議室、大会議室
 内 容 全道の専任手話通訳者とろうあ者相談員が一堂に会し、通訳・相談業務に関する知識を学び、通訳者の資質向上を図ることを目的に開催。

⑮千歳市通訳者（登録手話通訳者）の推薦審査

受験希望者がなかった為中止。

イ 要約筆記者派遣事業

①要約筆記者数 10名 ※前年度より1名増

②要約筆記者派遣状況

派 遣 事 項		依頼件数		派遣数（延人数）		派遣時間	
		29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度
1	生命、健康、医療保健関係	0	1	0	0	0	2
2	司法関係	0	0	0	0	0	0
3	児童等の教育、保育関係	3	2	3	3	3	6
4	労働、雇用関係	0	0	0	0	0	0
5	地域、住宅関係	0	0	0	0	0	0
6	人間関係	0	0	0	0	0	0
7	文化、教養関係	14	17	41	60	135	234
8	社会生活関係	4	2	10	8	28	7
9	手話の普及啓発に関すること	0	2	0	0	0	23
10	他、福祉事務所長が認めるもの	0	1	0	3	0	0
合 計		21	24	127	70	166	272

③千歳市登録要約筆記者研修会

回	と き	会 場	出席者	内 容
第1回	平成30年4月26日	社協事務所会議室 1	9	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度実績報告 ・30年度事業計画案 ・意見交換
第2回	平成30年12月15日		9	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「守秘義務について」 ・意見交換 ・要約筆記者のあり方について
第3回	平成31年2月25日		10	<ul style="list-style-type: none"> ・技術研修 ・OHCによる要約筆記 ・手書き・パソコンでの実習

④要約筆記入門講座（全8回）

と き 平成30年6月10日～9月9日（日曜日）32時間
 会 場 千歳市社会福祉協議会会議室
 受講者 4名（修了者4名）※前年度修了2名
 内 容 要約筆記奉仕員養成基礎課程

⑤千歳市登録手話通訳者・登録要約筆記者合同研修会

「(27) 手話・要約筆記による意思疎通支援事業 ア手話通訳派遣事業」に別掲

⑥千歳市通訳者（登録要約筆記者）の募集

- (1) 募集方法 ・社協ホームページ、広報ちとせ、情報誌ちやんと等に掲載
 ・要約筆記入門講座修了者に周知
- (2) 結果 応募者なし

(28) ファミリー・サポート・センター事業【市受託事業】

安心して子どもを生み、育てることの環境づくりを進めるために、子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と行いたい人（提供会員）を会員とし、その派遣調整等を行いました。

① 会員状況

	平成29年度	平成30年度	増 減
依頼会員	831	855	24
両方会員	160	159	-1
提供会員	194	197	3
合 計	1,185	1,211	26

②活動状況（内訳別活動件数）

活 動 内 容	件 数
保育所・幼稚園の登園前の預かり	0
保育所・幼稚園の送り	141
保育所・幼稚園の迎え	359
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	4

学童の放課後の預かり	14
放課後児童クラブの迎え	154
放課後児童クラブ終了後の預かり	2
子供の病気時の援助	2
子供の習い事等の場合の援助	670
保育所・学校等休み時の援助	25
保育所等施設入所前の援助	0
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	271
保護者等の求職活動中の援助	6
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	38
保護者等の外出の場合の援助	262
保護者等の病気、急用等の場合の援助	66
その他	49
合 計	2,063

前年比 -52

③調整状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
調整件数	11	9	9	10	12	8		
事前打合せ件数	10	9	9	9	12	8		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
調整件数	14	10	6	7	12	25	133	-35
事前打合せ件数	13	9	4	7	12	24	126	-29

④春の保育サービス講習会（提供会員を対象とした講習会）

- 1)と き 5月22日、23日、29日、30日、6月5日、6日 10:00～15:00の間
- 2)会 場 千歳市社会福祉協議会 会議室2・3 他
- 3)内 容 「子どもの栄養と食生活」「子どもの事故と安全」など10講座
- 4)参加者 新規会員登録者 6名、会員移行 4名、補講者 3名、任意受講 3名
こども 8名、託児者 11名、サブリーダー 3名（合計 38名）

※依頼会員向けの説明は随時行いました。

⑤秋の保育サービス講習会講習会

- 1)と き 9月19日、20日、26日、27日、10月3日、4日 10:00～15:00の間
- 2)会 場 千歳市社会福祉協議会 会議室2・3 他
- 3)内 容 「保育の心と子どもの世話」「子どもの身体の発育と病気」など10講座
- 4)参加者 新規会員登録者 3名、会員移行 2名、補講者 7名、任意受講 3名
こども 4名、託児者 8名、サブリーダー 5名（合計 32名）

⑥夏の交流会

- 1)と き 7月31日(火) 10:00~12:00
- 2)会 場 千歳市総合福祉センター 4階 402号室、403号室
- 3)内 容 パステルで虹色手形アート
- 4)講 師 さとう たまえ 氏
(パステルシャインアート ベーシックインストラクター)
- 5)参加者 提供会員 3名、両方会員 5名、依頼会員 24名、こども 50名、
サブリーダー 3名 (合計 85名)

⑦冬の交流会

- 1)と き 12月12日(水) 10:00~12:00
- 2)会 場 千歳市総合福祉センター 3階 309号室
託児室 302号室、304,5号室
- 3)内 容 「おうちパン講座」
フライパンで簡単パン作り
- 4)講 師 須鎗 佐知子 氏 (cotta 認定おうちパンマスター)
- 5)参加者 提供会員 2名、両方会員 6名、依頼会員 17名、こども 18名、託児者
16名、サブリーダー 4名 (合計 63名)

⑧子育て応援講演会開催

- 1)と き 9月20日(木) 10:00~12:00
- 2)会 場 千歳市社会福祉協議会 2階会議室 2・3
- 3)内 容 「この時代の家庭と子育てに必要な事 ~保育の心~」
- 4)講 師 金子 耕式 氏
HBC 北海道放送「ファミリートーク」ラジオパーソナリティー
ファミリーアドバイザー、アナウンサー
- 5)参加者 提供会員 5名、両方会員 6名、依頼会員 3名、一般 24名、こども
9名、託児者 5名、サブリーダー 3名 (合計 55名)

⑨会員に対する広報紙の発行

平成30年度発行：4回発行(4月、7月、11月、2月)

⑩周知・啓発活動

- 1)周知・啓発先 健康推進課、市内公共施設、子育て支援センター、社協 HP
市内学童保育、郵便局、銀行、商業施設、新聞社、ちゃんと 他
- 2)活動内容 概要説明、ポスター掲示、リーフレット配布、記事掲載等
- 3)総合支援センターにてファミサポの説明

5月16日、8月30日、11月14日、1月18日(新規入会 53名)

⑪サブリーダーの選任

各地域においてセンターと地域の会員をつなぐパイプ役として、サブリーダーを5名選任し配置しました。

毎月1回、サブリーダーとアドバイザーとの連絡調整会議を行いました。

⑫各種研修、講習会への参加、視察対応

1)子育て支援を考える会

5月31日、7月23日、10月1日、1月31日

2)ちとせ子育て支援ネットワーク研修

6月15日、10月2日、2月1日

3)アドバイザー意見交換会（札幌道庁赤レンガ庁舎内）

8月31日

⑬ひとり親家庭等への利用料の助成に関すること

登録相談時に助成制度の説明を行い、利用登録に関する受付事務を行いました。

制度紹介件数	利用登録件数
10件	8件

(29) 除雪サービス事業【市受託事業】

町内会が取り組む小地域福祉ネットワーク活動推進事業特別指定事業の実施地区を中心に、千歳市シルバー人材センター、企業のボランティア等の協力を得て高齢者世帯及び障がい者世帯の除雪支援サービスに取り組みました。

ア 除雪サービス実施状況

支援方法	登録世帯(世帯数)				支援実施世帯	派遣回数 (延べ回数)	支援者数(人)	
	①	②	③	④			実人数	延人数
町内(自治)会除雪支援活動	407	109	19	1	536	6,101	616	7,640
千歳市シルバー人材センター	80	27	4	1	29	181	—	—
企業ボランティア	4	0	0	0	1	3	—	—
合計	491	136	23	2	566	6,285	616	7,640

※・登録世帯：①一人暮らし高齢者世帯 ②高齢者世帯 ③障がい者世帯
④その他の世帯

- ・町内（自治）会除雪支援活動実施地区 77町内会（前年度1増）
- ・企業ボランティア等：千歳市環境整備事業協同組合に加盟する組合員

イ 登録世帯及び除雪支援活動実施地区数の推移

年度	平成29年度	平成30年度
登録世帯数（世帯）	647	652
実施地区数（町内会）	76	77

ウ ボランティア団体による除排雪支援

高齢者や障がい者世帯の多く居住する公営住宅周辺の除排雪支援について、除雪支援を必要とする町内会の取りまとめとボランティア団体との調整を行いました。

(30) 点字図書室運営事業【市受託事業】

視覚に障がいのある方への情報源として点訳図書及び音訳図書を提供するとともに、それらの図書を製作する点訳・音訳ボランティアの人材育成に取り組みました。

ア 利用登録者の現況

登録者数(全視情協加入団体・公共図書館含む)

・個人会員 189名 (前年度比 -1名)

・施設会員 368施設 (前年度比 +9施設) 登録者合計：557名・施設

イ 蔵書数

	点字図書		点訳絵本		音訳図書 (テープ)		音訳図書 (デイジー)	
	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数
総蔵書数	1,047	5,039	838	838	849	4,627	3,643	3,644
内自館製作	807	4,264	838	838	707	3,902	790	791

ウ 図書の製作状況

① ボランティア登録者現況

千歳市点訳赤十字奉仕団 団員数 17名(前年度比 △5名)

点訳絵本の会 会員数 19名(前年度比 +2名)

千歳音訳友の会 会員数 43名(前年度比 +6名)

ボランティア登録者計： 79名

② 点訳図書製作実績

	図書・誌名	タイトル数	巻数	ページ数
図書	一般図書	94	355	46,864
	絵本	63	63	1,902
	計	157	418	48,766
公的刊 行物等	広報ちとせ	12	21	2,438
	市民カレンダー	12	12	326
	市議会だより	4	4	468
	今日から、	6	6	304
	計	34	43	3,536
その他 定期刊 行物等	団体会報・情報誌等	27	27	344
	その他市配布物等	14	31	3,574
	プライベートサービス	34	41	2,184
	計	75	99	6,102
合計		266	560	58,404

③ 音訳図書製作実績

		媒体	タイトル数	巻数	録音時間
図書	単行本	CD	19	19	191:07
公的刊 行物等	広報ちとせ	テープ	12	10	38:51
		CD		12	

	市民カレンダー	テープ	12	12	5 : 26
	市議会だより	テープ	4	5	7 : 55
	社協だより	テープ	1	1	0 : 21
	今日から、	テープ	6	6	4 : 37
計			35	46	57 : 10
その他 定期刊 行物等	身体障害者新聞	テープ	12	12	5 : 22
	ホットライン	テープ	12	12	10 : 07
		CD		12	
	ニュートン	CD	12	12	78 : 01
	クオリティ	テープ	12	69	117 : 59
		CD		12	
	みんなのねがい	テープ	12	36	54 : 02
		CD		12	
	市民文化情報ひろば	テープ	12	12	9 : 04
	ちゃんと	テープ	51	51	33 : 26
その他市配布物等	CD	2	2	1 : 03	
プライベートサービス	CD	6	6	20 : 20	
計			131	248	329 : 24
合計			185	313	577 : 41

エ 図書の貸出状況

①点訳図書の貸出状況

	誌名(回)	利用者	件数	巻数
自 館 製 作	単行本	個人	24	130
		施設	19	75
	点訳絵本	個人	18	18
		施設	114	114
	単行本点字データ	個人/施設	3,049	17,221
	広報ちとせ(12)	個人	92	161
	市民カレンダー(12)	個人	91	91
	市議会だより(4)	個人	26	26
	今日から、(6)	個人	46	46
	市配布物等	個人	136	161
	団体会報・情報誌等	個人	139	148
プライベートサービス	個人	39	46	
自館製作計			3,793	18,237
他 館 製	単行本	個人	225	807
		施設	0	0
	点字毎日(51)	個人	148	148

作	点字さっぽろ(12)	個人	12	12
	その他	個人	20	20
他館製作計			405	987
合計			4,198	19,224

②音訳図書の貸出状況

	誌名(回)	利用者(人)	テープ(件)	CD(件)
自 館 製 作	単行本	個人	60	85
		施設	39	937
	広報ちとせ(12)	個人	7	115
	市民カレンダー(12)	個人	55	0
	市議会だより(4)	個人	18	0
	今日から、(6)	個人	23	0
	社協だより(6)	個人	7	0
	身体障害者新聞(12)	個人	84	0
	ホットライン(12)	個人	4	199
	ニュートン(12)	個人	0	348
		施設	0	354
	クオリティ(12)	個人	26	141
		施設	0	12
	みんなのねがい(12)	個人	0	93
		施設	24	48
	市民文化情報ひろば(12)	個人	48	0
	ちゃんと(51)	個人	259	0
	プライベートサービス	個人	0	18
市配布物等	個人	0	27	
バックナンバー	施設	0	150	
自館製作計			654	2,527
他 館 製 作	単行本	個人	10	2,092
	厚生(6)	個人	36	36
	北海道(6)	個人	35	60
	日盲連アワー(12)	個人	75	118
	道視連新聞(12)	個人	51	84
	明日への声(6)	個人	0	23
	週刊現代(44)	個人	0	210
	週刊朝日(48)	個人	0	389
	日点デイジーマガジン(12)	個人	0	20
	その他定期行物	個人	0	48
他館製作計			207	3,080

合計	861	5,607
----	-----	-------

③相互貸借（再掲）

	点訳		絵本	音訳テープ		音訳CD	
	図書	雑誌	絵本	図書	雑誌	図書	雑誌
他館への貸出	19	0	114	39	24	937	564
他館から借受	225	32	0	10	197	2,092	988

④貸出件数集計

	点訳		点訳絵本	音訳	
	単行本	雑誌等	絵本	単行本	雑誌等
平成 29 年度	4,396	578	92	2,871	3,324
平成 30 年度	3,317	749	132	3,223	3,247
増減	△1,079	+171	+40	+352	△77

オ 研修事業等

① 音訳ボランティア養成講習会

と き 平成 30 年 5 月 23 日～10 月 10 日(毎週水曜日 全 20 回)

会 場 千歳市総合福祉センター

受講者 14 名(修了者 12 名)

② 視覚障害者情報ネットワーク「サピエ」研修会

と き 平成 30 年 7 月 5 日～6 日(2 日間)

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）

参加者 全国視覚障害者情報提供施設協会登録施設職員・サピエ事務局

出席者 1 名

③ 北海道視覚障害者情報提供施設協議会

と き 平成 31 年 2 月 4 日

会 場 日本赤十字社北海道支部（札幌市）

参加者 来賓（2 名）北海道視覚障害者情報提供施設等会員（10 名）オブザーバー（1 名）事務局（2 名）

出席者 1 名

カ その他

① 点字印刷サービス 130 件 43,140 ページ

② レファレンスサービス（資料検索・調査等）

③ 相談支援サービス（パソコン・再生機器等の使用に関する問い合わせ等）

④ プライベートサービス（点訳・音訳ボランティア団体への仲介、職員による点訳、電話による文書読み上げ、テキスト化等）

⑤ 点訳のてびき第 4 版（全国視覚障害者情報提供施設協会編）編集委員会へブロック代表委員として協力

(31) 福祉バス運行事業【市受託事業】

項目	申込件数		宿泊件数		稼働件数		利用人員		年間走行距離数km	
	1号車	2号車	1号車	2号車	1号車	2号車	1号車	2号車	1号車	2号車
市関係	3	1	0	0	3	1	81	20	254.0	162.0
社協関係	2	2	0	0	2	2	46	22	323.0	405.0
老人クラブ	17	8	4	3	21	11	449	122	2,930.0	1780.0
福祉団体	40	47	3	8	43	55	1,055	625	5,706.0	8635.0
町内会	49	11	1	1	50	12	1,472	147	7,815.0	1748.0
その他	6	0	0	0	6	0	212	0	1,006.0	0.0
小計	117	69	8	12	125	81	3,315	936	18,034.0	12730.0
合計	186		20		206		4,251		30,764	

※1号車（大型車）50人乗り、2号車（リフト付きマイクロバス）19人乗り

(32) 相談と緊急通報機器設置のための調査事業【市受託事業】

(緊急通報システム訪問調査)

一人暮らし等の高齢者の相談や緊急事態に迅速に対応する緊急通報システム設置希望者に対し、3か所の地域包括支援センター職員が訪問し身体状況・日常生活状況など設置基準に関する調査を行いました。

また、設置後は西区地域包括支援センターにおいて一人暮らしの高齢者や障がいのある方の急病や緊急時の相談があった時に、必要に応じて関係機関への連絡や調整等の対応を行いました。

- ・ 調査件数 30件（内訳：西区包括 12件、東区包括 12件、向陽台区包括 6件）

(33) 要支援者等の介護サービス利用を支援する事業【市受託事業】

(指定介護予防支援事業)

地域包括支援センターにおいて、要支援1・2の認定を受けた高齢者等に対し、介護予防支援サービス計画を作成し一定期間ごとに評価を行うことにより、要介護状態になることを予防し自立した生活を送れるための介護予防支援を行いました。

また、平成29年度から千歳市で開始された日常生活支援・総合事業における介護予防ケアマネジメント事業（包括的支援事業）についても上記同様、自立支援に資するケアマネジメントを行いました。

【単位：件】

	指定介護予防支援		介護予防ケアマネジメント		合計	
	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度
西区包括	1813	1382	781	1442	2594	2824
東区包括	1563	1179	543	1059	2106	2238
向陽台区包括	963	755	345	580	1308	1335

(34) 高齢者の健康づくりと介護予防を支援する事業【市受託事業】**重点事項**

(介護予防センター運営事業)

高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも元気で自分らしい生活を送ることができるよう、地域に出向いて介護予防教室や出前講座等を開催しました。また、介護予防リーダーを育成し、「サービスの受け手」であった高齢者が「サービスの担い手」となる町内会等単位での「介護予防サロン事業」の取り組みを推進しました。

介護予防普及啓発事業

上段 30 年度

下段 29 年度

①介護予防教室

名 称	内 容	開催回数	参加人数
介護予防教室	「いきいき百歳体操」をベースに、「かみかみ百歳体操」、「ノルディックウォーキング」等のプログラムを複合的に実施 ※H30 年度は北海道胆振東部地震により、4 回中止としている	116 回	2,460 名
		120 回	2,662 名

②ノルディックウォーキング講習会

テーマ	内 容	開催回数	参加人数
ノルディックウォーキング講習会基礎コース	ノルディックウォーキングの基礎から行う講習会（28 年度は初級コースとして実施）	3 回	28 名
		3 回	61 名
ノルディックウォーキング講習会体力アップコース	ノルディックウォーキングの効果効用を実感できるように、全 8 回継続して実施する講習会（28 年度は中級コースとして実施）	2 会場	延べ 108 名
		2 会場	延べ 157 名

③ノルディックウォーキングポール貸出し

名 称	内 容	延貸出数	返却数	現貸出数
ノルディックポール貸出し	40 歳以上の市民に貸出しを行うことで介護予防の推進を図る	888 組	445 組	443 組
		911 組	484 組	427 組

④出前講座

名 称	内 容	開催回数	参加人数
認知症予防	認知症の正しい理解、認知症の人や家族を周囲が支えることの必要性、認知症にならないための生活習慣等の講話	7 回	138 人
		6 回	153 人
転倒・ロコモティブシンドローム予防	運動器症候群についての理解を深め、予防するためのトレーニングの実技指導	3 回	96 人
		4 回	92 人
体験「いきいき百歳体操」	体操の効果を説明した後、実際に重りを付けて体験	11 回	163 人
		17 回	245 人

骨盤底筋体操と尿失禁予防	尿失禁についての講話と、予防のための骨盤底筋のトレーニングの実技指導	2回	30人
		—	—
「介護予防について」	現在の千歳市や全国の高齢化の状況を説明し、介護予防の考え方や取組みを伝える講座	—	—
		1回	28人
シニア世代のためのノルディックウォーキング	ノルディックウォーキングの講義と体験を行い普及啓発を行う。希望者には貸出しも行った。	—	—
		6回	95人

⑤その他の活動

事業名	内 容	実施回数	参加人数
地域リハビリテーション活動支援事業	リハビリテーション専門職が自立支援の視点から助言・指導を行う	50件	332人
		34件	163人

⑥介護予防サロン事業

実施町内会	内 容	巡回数	参加人数
46町内会	サロン事業の開始日、定期的な力測定等、介護予防サロン事業の実施への支援	139回	1,964人
43町内会		123回	1,622人

⑦「いきいき百歳」体操交流会

事業名	内 容	実施回数	参加人数
「いきいき百歳体操」交流会	介護予防サロン実施団体を対象に開催。各町内会の活動内容の展示や実践できる介護予防の知識の向上を目的として、参加者の交流を行う。	1回	133名
		1回	131名

介護予防ボランティア育成事業

名 称	内 容	開催回数	受講修了者
介護予防リーダー養成講座	いきいき百歳体操をはじめ高齢者による多様な介護予防活動を推進する人材の養成講座	3回	36名
		3回	53名
介護予防リーダーフォローアップ講座	介護予防リーダー養成講座修了者を対象とした実技指導等の講座	1回	90名
		1回	85名
すこやかボランティア募集	介護予防教室や講演会を手伝っていただくボランティアの募集を図った	随時募集	44名登録 延べ活動643名
		随時募集	35人登録 延べ活動521名
すこやかボランティア交流会	登録しているすこやかボランティアの交流や知識を増やすための交流会の実施	1回	19名
		1回	24名

認知症サポーター養成講座	キャラバン・メイトによる認知症についての理解を深めるための講座	15回	584人
	※出前講座での実施と合算	14回	688人
認知症サポーターフォローアップ 新規	認知症サポーター養成講座を受講した市民を対象に、『応援者』から『支援者』へをコンセプトに全4日間日程で実施。	1回	延受講者数 138名
		1回	延受講者数 163名
キャラバンメイト連絡会	市内のキャラバンメイト相互の交流や情報交換を行う。	2回	延べ19名
		2回	延べ20名

「介護の日」イベントの実施

名 称	内 容	参加人数
介護の日記念講演会	「落語とりハビリで介護予防！～エアリハてなあに？～」 講師：落語家 理学療法士 日向亭 葵氏 日時：平成30年11月1日 会場：北ガス文化ホール 2階中ホール	283人

(35) 昼食・夕食配食サービス事業【市受託事業】

(訪問給食サービス事業)

調理を行うことが困難な障がいの方、一人暮らしの高齢者及び高齢者世帯等を対象に、昼食・夕食及び疾病に対応した治療食の配食を行いました。

配食による面会等から利用者の状況を適宜確認し、治療食への変更、家族や介護サービス等の関係機関への連絡など、利用者の状況から円滑に対応した支援を行いました。

○ 利用者数及び配食数

【単位：名、食】

利 用 者	高齢者	障がい者	計
実利用者数	58	9	67
延利用者数	632	103	735
月平均利用者数	52.6	8.5	61.1
延配食数	15,297	2,027	17,324
月平均配食数	1,274	168	1,442
1日平均配食数	42.4	5.6	48.0

(前年度対比：実利用者数+1名、延配食数△347食)

(36) シルバーハウジング入居者の日常生活を支援する事業【市受託事業】

(シルバーハウジング生活援助員派遣事業)

やまとの杜団地におけるシルバーハウジングと北栄C団地17、18号棟におけるシルバーハウジングの入居者を対象に、生活援助員が安否確認、多様な交流事業の企画実施、生活相談、介護サービスの紹介及びケアマネジャーとの連携により、在宅生活継続のための支援を行いました。

- ・シルバーハウジング入居状況： 北栄28世帯、やまとの杜34世帯
- ・生活指導及び相談件数 北栄57件、やまとの杜27件

- ・交流事業の企画 北栄 51 回、やまとの杜 4 回
- ・その他 北栄 45 件、やまとの杜 13 件

(37) 高齢者の心身の状況と環境を調査する事業【市受託事業】

(要介護認定調査事業)

千歳市民及び他市町村に住居登録があつて千歳市内に在住している方に対し、千歳市をはじめ他市町村からの依頼を受け、介護保険サービスが継続して利用できるよう認定の審査に必要な訪問調査を行いました。

- ・受託市町村 6 市町村
- ・調査受託件数 14 件 (前年度比：+ 1 件)

(38) 高齢者が持つ様々な問題に対応する事業【市受託事業】

(包括的支援事業)

西区地域包括支援センター

①相談件数及び相談内容 (表中の相談者・相談内容は主なものを記載)

相談件数	相談方法		相談者		相談内容 (重複あり)		相談対象者年齢	
	来所	116	本人	277	介護保険関係	531	65歳未満	11
1124 件	電話	704	家族・親族	343	保健・福祉サービス	75	65～74歳	124
	訪問	269	民生委員・社協	43	虐待・権利擁護	173	75歳以上	938
	文書	25	行政機関	59	医療・健康相談	377	不明	51
前年度 1242 件	緊急通報	6	医療機関	194	家族支援	0	—	—
	その他	4	介護支援専門員	89	情報照会	173	—	—
	—	—	その他	119	その他	157	—	—

②権利擁護業務 (相談件数の再掲)

高齢者虐待相談の内訳					
身体	経済	精神	性的	放棄	合計
10	24	8	0	24	66

権利擁護相談の内訳					
成年後見 利用	日常生活自 立支援事業	消費者被害	困難事例	その他	合計
30	11	0	65	0	106

③地域ケア会議の開催：5 回

④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・介護支援専門員対象の研修会 5 包括合同開催 (6/12・3/18)
- ・主任介護支援専門員交流会の開催・出席 (9/18)

⑤多職種連携・協働による地域包括支援ネットワークの構築

- ・西地区エリア勉強会の開催 2 回 (6/20・2/15)
- ・ちとせの介護医療連携の会定例会出席 (年 7 回)
- ・ちとせの介護医療連携の会研修部会出席 (年 6 回)
- ・ちとせの介護医療連携フォーラムへの参加 (7/21)

- ・ちとせの介護医療連携介護グランプリへの協力（年1回）
- ・石狩管内地域包括支援センター連絡会議企画委員会（2回）

⑥地域におけるネットワークの構築

- ・自由ヶ丘老人クラブ定例会出席（8/17・11/25）
- ・自由ヶ丘福祉委員定例会出席（12/11）
- ・自由ヶ丘サロンへ参加（1回）
- ・北栄団地シルバーハウジングサロンへ参加（1回）
- ・地域情報誌への記事掲載による業務の周知（年5回）
- ・認知症対応型共同生活介護、地域密着型通所介護の運営推進会議へ参加（19回）

東区地域包括支援センター

①相談件数及び相談内容（表中の相談者・相談内容は主なものを記載）

相談件数	相談方法		相談者		相談内容（重複あり）		相談対象者の年齢	
	来所	90	本人	286	介護保険関係	647	65歳未満	64
1011件	電話	653	家族・親族	293	保健・福祉サービス	88	65～74歳	170
	訪問	266	民生委員・社協	38	虐待・権利擁護	71	75歳以上	736
前年度 1116件	文書	0	行政機関	47	医療・健康相談	87	不明	41
	その他	2	医療機関	159	家族支援	0	—	—
	—	—	介護支援専門員	115	情報照会	132	—	—
	—	—	その他	73	その他	193	—	—

②権利擁護業務（相談件数の再掲）

高齢者虐待相談の内訳					
身体	経済	精神	性的	放棄	合計
34	2	0	0	0	36

権利擁護相談の内訳					
成年後見 利用	日常生活自 立支援事業	消費者被害	困難事例	その他	合計
11	2	0	22	0	35

③地域ケア会議の開催：7回

④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・市内5か所地域包括支援センター主任介護支援専門員による活動
 - ア 打ち合わせ会議出席（年7回）
 - イ 主任介護支援専門員交流会の開催（9/18）
 - ウ 介護支援専門員勉強会の開催（6/12 3/18）
- ・事例勉強会の開催（2/22）

⑤多職種連携・協働による地域包括支援ネットワークの構築

- ・つながる東区の輪（高齢・障がい・医療分野のネットワーク構築）の活動
 - ア つながる東区の輪の企画委員会開催（年10回）
 - イ つながる東区の輪「社会資源の発見」の開催（4/25）

- ウ つながる東区の輪「医療分野」の開催（7/25）
- エ つながる東区の輪「障がいがある方が利用できる事業所」の開催（10/24）
- オ つながる東区の輪「地域の事業所を知ろう（介護保険分野）」の開催（1/30）

⑥地域におけるネットワークの構築

- ・東郊町内会社会資源構築 介護予防交流会「音楽×介護予防」の開催（1/23）
（打ち合わせ 8/29、11/20）
- ・第9地区民生委員児童委員協議会出席（6/6）
- ・第4、11地区民生委員児童委員協議会出席（6/12）
- ・第5地区民生委員児童委員協議会出席（7/12）
- ・第4地区民生委員児童委員協議会における意見交換会出席（8/7）
- ・鉄東コミュニティ協議会「地域福祉懇談会」出席（3/3）
- ・千歳市老人ホーム入所判定会議出席（6/18、3/28）
- ・東区圏域（仮称）お出かけサロンマップ企画会議出席（11/30、12/20、1/24）
- ・介護予防サロン巡回回数：13回
- ・地域密着型介護事業所運営推進会議出席：24回

向陽台区地域包括支援センター

①相談件数及び相談内容（表中の相談者・相談内容は主なものを記載）

相談件数	相談方法		相談者		相談内容（重複あり）		相談対象者の年齢	
	来所	158	本人	179	介護保険関係	440	65歳未満	53
614件	電話	329	家族・親族	201	保健・福祉サービス	37	65～74歳	98
	訪問	103	民生委員・社協	40	虐待・権利擁護	44	75歳以上	438
	文書	0	行政機関	22	医療・健康相談	195	不明	25
前年度 459件	その他	24	医療機関	78	家族支援	12	—	—
	—	—	介護支援専門員	47	情報照会	43	—	—
	—	—	その他	47	その他	83	—	—

②権利擁護業務（相談件数の再掲）

高齢者虐待相談の内訳					
身体	経済	精神	性的	放棄	合計
28	0	0	0	1	29

権利擁護相談の内訳					
成年後見 利用	日常生活自立 支援事業	消費者被害	困難事例	その他	合計
14	1	0	0	0	15

③地域ケア会議の開催：2回

④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・ケアマネジャー対象事例検討会「『自立支援』を考える」開催（7/13）
- ・市内5か所の地域包括支援センター主任介護支援専門員による活動
ア 打合せ会の出席（7回）

- イ 主任介護支援専門員交流会の開催・出席 (9/18)
- ウ 介護支援専門員を対象とした研修会の開催・出席 (6/12, 3/18)
- ⑤多職種連携・協働による地域包括支援ネットワークの構築
 - ・向陽台区内の介護保険事業所連絡会 (あったかネット向陽台) での活動
 - ア あったかネット向陽台役員会出席 (2回)
 - イ 泉沢向陽台町内会連合会主催行事への参加 夏祭り (8/4, 5)、文化祭 (10/28)
 - ウ 泉沢向陽台町内会連合会主催「向陽台地域懇談会」の企画運営 (6/30, 11/17)
 - ・千歳市障がい者自立支援協議会相談支援部会出席 (7回)

- ⑥地域におけるネットワークの構築
 - ・第10地区民生委員児童委員協議会定例会出席 (5/10, 7/11, 9/12, 1/10)
 - ・若草町内会福祉委員会出席 (5/11, 7/13, 11/9, 1/11, 3/8)
 - ・白樺町内会福祉委員会出席 (4/12, 5/10, 7/12, 8/17, 10/11, 11/8, 3/14)
 - ・里美町内会福祉委員会出席 (4/22, 6/17, 8/19, 10/14, 1/27)
 - ・文京町内会福祉委員会出席 (5/13, 1/26)
 - ・柏陽町内会福祉委員会出席 (4/25, 5/23, 7/25, 9/27, 11/28, 2/27)
 - ・福住町内会福祉委員会出席 (7/12, 1/10)
 - ・文京1丁目ほっとす訪問サービス協力員打合せ会出席 (4/5, 4/19, 9/11, 10/3)
 - ・文京1丁目町内会とほっとす訪問サービス協力員との意見交換会出席 (6/3)
 - ・福住町内会介護予防サロンでの出前講座「介護保険について」開催 (7/20)
 - ・里美シニアクラブでの出前講座「介護保険について」開催 (8/19)
 - ・千歳市障がい者自立支援協議会相談支援部会出席 (7回)
 - ・向陽台区圏域お出かけサロンマップ作成会議出席 (3回)
 - ・介護予防サロンの巡回 (7回)
 - ・相談室の地域開放事業 (あったかカフェ、歌声喫茶)
 - ・地域密着型介護事業所運営推進会議出席：17回

(39) 高齢者ホームヘルプサービス事業 (指定訪問介護事業・訪問型サービス)

事業対象者、要支援及び要介護認定を受けた高齢者を対象に、サービス提供責任者が利用者の身体状況等に対応した支援計画書を作成し、経験豊富な担当ホームヘルパーと連携に努めることで、利用者の体調変化に即した食事、入浴、排泄等の身体介護から調理、掃除、洗濯等の生活援助を行いました。

また、新たに介護を要する新規利用者が適切な訪問介護を受けることができるよう、総合職員を増員し利用者の円滑な受入体制を構築しました。

新富ヘルパーステーション

介護度別年間実利用者人数

【単位：名】

事業対象者	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
3	39	39	47	17	3	4	4	156

(前年度比：△1名)

サービス提供時間数

【単位：時間】

	介護予防	生活援助	身体・生活	身体介護	合計
4月	234	142.5	148.5	62	587.0
5月	245.8	145	150.5	53.3	594.6
6月	248.5	143	143.5	54.3	589.3
7月	261	169	152	49	631.0
8月	277.5	187	158	46.5	669.0
9月	217	154	153.8	36.5	561.3
10月	276	164.5	179.8	57.5	677.8
11月	289.5	136	186.5	90	702.0
12月	271.3	132.5	181.8	74.5	660.1
1月	259.5	126.3	158.5	88.8	633.1
2月	255.5	126.5	144.5	90	616.5
3月	263.5	127.8	143.5	96.8	631.6
計	3099.1	1754.1	1900.9	799.2	7553.3

(前年度比：△269.2時間)

祝梅ヘルパーステーション

介護度別年間実利用者人数

【単位：名】

事業 対象者	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
0	13	13	15	5	4	0	2	52

(合計値前年度比：+1人名)

サービス提供時間数

【単位：時間】

	介護予防	生活援助	身体・生活	身体介護	合計
4月	77.8	121.5	83.3	20	302.6
5月	72.3	117.8	109.5	23	322.6
6月	76.5	119.3	99	17.8	312.6
7月	76.5	100.8	104.8	20.3	302.4
8月	76.5	99	112.3	23.5	311.3
9月	58	58	95.5	31.3	242.8
10月	74.8	60.8	109.5	35	280.1
11月	83	50.8	96	38.8	268.6
12月	86.8	50	89.3	34.8	260.9
1月	89.8	47.3	89.5	36.8	263.4
2月	80.5	52	96	35.3	263.8
3月	80	66	95.3	49	290.3
計	932.5	943.3	1180	365.6	3421.4

(前年度比：合計+272.4時間)

(40) デイサービスセンター事業（指定（介護予防）通所介護事業・通所型サービス）

事業対象者、要支援、要介護認定を対象に、それぞれの身体状況、生活環境等に基づき作成した支援計画により、経験豊富な専門職員による円滑な介助、特殊浴槽やスロープを活用した入浴、リハビリ運動から脳トレーニングと体力測定、季節に応じた多様なレクリエーション、治療食や和洋食などの豊富なメニュー、市内・市外への野外活動と買物などニーズに合わせたイベントを実施することで、利用者の身体機能維持向上、社会参加の促進及び家族の介護負担軽減を図りました。

また、セーフティーネットの観点をもって利用者の受入れを行い、利用者の在宅生活継続の寄与に努めました。

新富デイサービスセンター

介護度別年間実利用者人数 【単位：名】

事業対象者	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
7	12	17	66	29	8	3	6	148

(前年度比：合計△12名)

介護度別延利用回数 【単位：回】

	事業対象者	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
4月	30	42	77	340	141	21	16	15	682
5月	29	50	87	373	126	22	19	18	724
6月	30	46	77	355	132	33	11	11	695
7月	30	48	108	313	126	38	14	7	684
8月	28	47	109	323	126	28	17	7	685
9月	23	42	87	287	106	35	8	7	595
10月	30	47	115	371	148	36	14	5	766
11月	30	48	114	312	187	35	18	3	747
12月	27	45	107	261	163	29	15	4	651
1月	26	45	101	265	148	30	13	8	636
2月	30	44	113	281	119	37	12	7	643
3月	34	47	123	291	154	41	18	8	716
計	347	551	1218	3772	1676	385	175	100	8224

(前年度比：合計△1,036回)

祝梅デイサービスセンター

介護度別年間実利用者人数 【単位：名】

事業対象者	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
1	21	20	59	27	15	4	0	147

(前年度比：合計△28名)

介護度別延利用回数

【単位：回】

	事業対象者	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
4月	5	46	91	377	144	65	23	0	751
5月	4	49	100	420	146	63	28	0	810
6月	4	37	98	417	149	52	31	0	788
7月	4	45	98	431	136	62	34	0	810
8月	3	53	103	412	141	57	31	0	800
9月	3	44	83	329	87	38	27	0	611
10月	5	56	111	453	107	28	27	0	787
11月	4	48	110	411	124	36	26	0	759
12月	4	53	109	361	138	44	26	0	735
1月	0	55	91	355	160	42	21	0	724
2月	0	61	91	366	140	44	25	0	727
3月	0	61	95	371	130	60	27	0	744
計	36	608	1180	4703	1602	591	326	0	9046

(前年度比：合計+22回)

(41) ケアマネジャーによる支援事業（指定居宅介護支援事業）

要介護1から5の認定を受けた高齢者を対象に、本会のケアマネジャーがホームヘルプやデイサービスなどの居宅サービス事業所、福祉用具に係る事業所及びその他の多様な社会資源を活用したケアプラン（居宅サービス計画書）を作成し、それぞれの事業所と適宜連携を図りながら利用者の自立と在宅生活の継続に向けた支援を行いました。

新富ほっとす支援事業所

介護度別利用者人数

【単位：名】

	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
4月	105	38	12	11	5	171
5月	17	39	15	9	6	86
6月	106	37	13	9	6	171
7月	109	36	11	8	5	169
8月	107	39	16	8	5	175
9月	109	36	13	9	4	171
10月	113	38	11	10	4	176
11月	111	40	12	8	3	174
12月	113	42	10	8	4	177
1月	112	39	9	7	3	170
2月	109	48	9	8	3	177
3月	111	48	11	8	3	181
計	1222	480	142	103	51	1998

(前年度比：合計△57名)

祝梅ほっとす支援事業所

介護度別利用者人数

【単位：名】

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4月	26	7	2	1	2	38
5月	26	7	2	1	2	38
6月	24	7	3	2	2	38
7月	24	7	2	3	2	38
8月	24	7	2	4	1	38
9月	23	7	3	4	1	38
10月	23	78	3	2	1	107
11月	24	7	4	2	2	39
12月	24	7	3	2	2	38
1月	23	6	3	3	1	36
2月	24	4	3	3	1	35
3月	22	4	3	3	1	33
計	287	148	33	30	18	516

(前年度比：合計+85名)

(42) 障がい者ホームヘルプサービス事業（指定居宅介護支援事業）

障がいのある方が安心して日常生活を送るために、サービス提供責任者が、利用者個々の状況に即した訪問介護計画書及び手順書等を作成し、ホームヘルパーと連携を図りながら掃除、洗濯等の家事援助及び入浴等の身体介護を実施しました。

- ・利用者実人数 20名（前年度比：+1名）
- ・延提供時間 2438.25時間（前年度比：△797時間）

(43) 介護の専門職育成事業

教育機関及び福祉機関が実施する介護や福祉の人材育成に係る実習生を受け入れ、福祉・介護員養成の協力支援に努めました。

また、職員の福祉・介護研修を計画的に実施し、職員の技術向上に努めました。

- ・実習受け入れ施設 16施設
- ・実習人数 35人

※ (65) きずなポイント事業の実施【市受託事業】

高齢者がボランティア活動を通して自身の介護予防につなげるとともに、地域の支え合いに参加することを目的とする「きずなポイント事業」を市から受託し、管理機関としての役割を担い実施しました。

ア 実施状況

1. ボランティア登録講習会	3回（5月、7月、10月）
2. ボランティアの登録状況 登録者数（うちボランティアセンター新規登録） <内訳> ・男女比 ・最高齢 ・平均年齢	212名（内28名） 男性79名・女性133名 90歳（男性） 73.97歳
3. 実活動者数	126名
4. 受入施設等 ・高齢者支援施設 ・子育て支援施設 ・介護予防事業	35施設 19施設 10か所（コミセン）
5. ボランティアの活動内容	10種類
① 囲碁・将棋などの趣味活動の相手、②入所者・利用者の話し相手 ③入居者・利用者に対する芸能等の披露、④レクレーション補助 ⑤食事介助の補助、⑥散歩の付添い、⑦保育の補助、⑧施設行事の手伝い ⑨施設内外環境整備、⑩その他	
6. その他の管理業務	
①ボランティア保険の加入手続き、②ボランティア手帳の作成及び交付 ③登録及び更新、④受入施設等の登録受付、⑤受入施設等とボランティア調整 ⑥ポイントの付与、換金（寄付）申請受付	

イ きずなポイント事業ボランティア登録講習会

ボランティア講話や事業概要の説明等、事業に登録して活動するための必須講習会及び登録者の交流を目的とした交流事業を開催しました。

①ボランティア登録講習会／受講者計32名（前年度比 39名減）

	第1回	第2回	第3回
日時	5月9日	7月10日	10月24日
会場	千歳市社会福祉協議会 会議室2.3	北ガス文化ホール 小会議室1	千歳市社会福祉協議会 会議室2.3
受講者	12名（うち登録12名）	9名（うち登録7名）	11名（うち登録9名）
講師	認定NPO法人シーズネット 理事長 奥田龍人氏	認定NPO法人シーズネット 孤立防止担当理事 杉谷憲昭氏	認定NPO法人シーズネット 北海道孤立防止ネットワークセンター長 渡邊一栄氏

・内容 ※全日程共通

講演：「まちづくりとボランティア～支え合いの地域を目指して～」

②登録ボランティアサロン／参加者計101名（前年度比37名減）

	第1回	第2回	第3回	第4回
・と き	6月7日	9月7日	11月16日	2月8日
・参加者	37名	中止	28名	36名
・内 容	①講話 笑顔で暮らすコツ 「病気も防げる笑顔の作り方①」 講師 吉 裕子氏（一般社団法人マインドデザイン協会） ②脳トレーニング体験（各自希望の体験に参加） 健康マージャン、折り紙、五目並べ、UNO、囲碁		①講話 笑顔で暮らすコツ 「病気も防げる笑顔の作り方②」 講師 菅野ゆかり氏（一般社団法人マインドデザイン協会代表理事） ②脳トレーニング体験（各自希望の体験に参加） 健康マージャン、折り紙、ふまねっと、オセロ	①講話 笑顔で暮らすコツ 「病気も防げる笑顔の作り方③」 講師 菅野ゆかり氏（一般社団法人マインドデザイン協会代表理事） ②脳トレーニング体験（各自希望の体験に参加） 健康マージャン、折り紙、ふまねっと、囲碁、けん玉

・会 場 千歳市社会福祉協議会会議室 *全日程共通

(67) 千歳市生活支援コーディネーター業務【市受託事業】**拡充**

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくため地域における、生活支援等の体制整備に向けた調整役として第1層（市区域）及び第2層（日常生活圏域）生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置し、多様な主体間での連携・協働による取り組みを進めました。

① 生活支援体制整備事業研修会「地域づくり交流会」開催

と き 平成30年5月23日

会 場 北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）

参加者 137名

内 容 事業説明

「生活支援体制整備事業について」事務局

実施報告「日常圏域ワークショップからの報告」

ファシリテーター 山本純子 氏

実践発表「住民主体の多様なサロンの取り組み」

② 地域サロン実践発表会開催

と き 平成30年10月12日

会 場 北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）

- 参加者 133名
- 内容 第1部 実践発表「私たちの地域サロン実践発表会」発表団体9団体
第2部 体操の時間「これだけは知っておこう！いきいき百歳体操のポイント！」
第3部 体験型ワークショップ「明日から使える！地域サロンのススメ」
- ③ 西区地域ケア会議（西区地域包括支援センターと西区圏域生活支援コーディネーター）
合同開催
- と き 平成31年2月15日
- 会 場 北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）
- 参加者 44名
- 内 容 講演「災害に備える地域福祉活動を考える～地元だから支えられること」
講師 井内 聖 氏
グループワーク「災害時に地域でできること、今後の課題」
- ④ 通いの場・生活支援等サービスガイドブック掲載情報の更新
町内会：56件、老人クラブ：33件、生活支援等サービス：47件
- ⑤ 通いの場・生活支援等サービスガイドマップ【おさんぽなび】の作成
掲載内容 介護予防の通いの場、地域のおでかけ先情報
作成部数 5,000枚（各圏域1,000枚×5圏域）
- ⑥ 事業周知
- ・地域情報誌「ちゃんと」に生活支援コーディネーター活動記事掲載の掲載
 - ・生活支援整備整備事業紹介動画の作成
※希望する町内会に対しDVDに複製し配付（46町内会）
- ⑦ 「生活支援体制整備事業 生活支援コーディネーター」専用サイトの開設
生活支援コーディネーター@レポート（地域づくり情報の掲載）、事業紹介、事業紹介動画を閲覧できる専用ウェブサイトを開設しました。
- ⑧ ネットワークの構築
- ・第2層協議体（日常生活圏域別サロンマップ作成委員会）による関係者間の助け合いの地域づくりに向けた情報交換、情報共有。
会議等の実施回数 20回
（内訳：西区4回、東区4回、北区4回、南区3回、向陽台区5回）
- ⑨ 恵庭市生活支援コーディネーターとの情報交換
- と き 平成30年5月31日
- 会 場 千歳市社会福祉協議会 事務所
- 出席者 恵庭市社会福祉協議会、恵庭市生活支援コーディネーター他計11名
- ⑩ 外部研修等の参加
- ・全道社協職員研究協議会
と き 平成30年7月12日
会 場 札幌市
出席者 生活支援コーディネーター2名

内 容 分科会による実践発表及び他市町村の生活支援体制整備事業の取り組みについて情報交換

・平成30年度広報講習会

と き 平成30年7月20日

会 場 札幌市

出席者 生活支援コーディネーター1名

内 容 目に留まりやすく、伝わりやすい広報誌の作成方法について

・生活支援コーディネーター情報交換会

と き 平成30年9月20日、21日

会 場 札幌市

出席者 生活支援コーディネーター1名

内 容 住民主体の地域づくりについて

・平成30年度第2回石狩振興局管内地域包括支援センター連絡協議会

と き 平成30年11月26日

会 場 札幌市

出席者 生活支援コーディネーター2名

内 容 コミュニケーションスキルを研ぐ～地域とのネットワーク構築のために

・北海道生活支援コーディネーター養成研修

と き 平成30年11月30日

会 場 札幌市

出席者 生活支援コーディネーター2名

内 容 生活支援コーディネーターに係る状況説明と業務に関する講義

・平成30年度生活支援コーディネーター連絡協議会

と き 平成30年12月12日

会 場 札幌市

出席者 生活支援コーディネーター1名

内 容 生活支援コーディネーターの他市町村における活動状況説明と業務に関する講義

・平成30年度第2回ミナクール市民活動講座

と き 平成30年12月16日

会 場 千歳市民活動交流センター ミナクール

出席者 生活支援コーディネーター4名

内 容 「伝わる広報のコツ」の講義及び演習

・ちとせ地域福祉ネットワーク会議

と き 平成31年1月29日

会 場 千歳市総合福祉センター

出席者 生活支援コーディネーター3名

内 容 「人が育つまちづくり多様な担い手が支え合う地域社会へ」の講義及びグループワーク

・みんなで知ろう！認知症予防

と き 平成 31 年 3 月 17 日

会 場 千歳市総合福祉センター

出席者 生活支援コーディネーター 4 名

内 容 S T（言語聴覚士）を中心とした認知症予防のイベントの開催支援

・生活支援コーディネーター意見交換会

と き 平成 31 年 3 月 27 日

会 場 札幌市

出席者 生活支援コーディネーター 5 名

内 容 石狩管内の生活支援コーディネーターの活動状況と課題について意見交換

5.悩みごとを気軽に相談できる相談活動と権利擁護の取り組み、自立に向けた支援

(44) 相談所機能の充実^{拡充}

家庭生活や社会生活における相談経験や実績が豊富な家庭生活カウンセラークラブに相談員を依頼し、日中の相談に加えて夜間の相談を新たに開設するなど、悩みごとを抱えた人がいつでも気軽に相談できる場を拡充しました

また、同クラブと連携した相談所の初回開設日にはリニューアルオープンセレモニーを開催し、相談所の利用に係る周知を行いました。

ア 相談員 千歳市家庭生活カウンセラークラブ（平成 30 年 5 月 1 日から依頼）

イ 開設日 来所相談・電話相談

毎週火・水曜日 13 時～16 時

第 2・4 木曜日 18 時 30 分～20 時 30 分

ウ 取扱件数 330 件（前年度比 84 件増）

エ 相談者数 延べ 333 名（前年度比 83 件増）

男性：146 名（43.8%）、女性：187 名（56.2%）

オ 相談方法 来所：159 名（47.7%）、電話：174 名（52.3%）

カ 相談内容別処理状況 (件)

No.	相談事項	取扱件数	処理事項					
			解決	再来	民生委員	他機関	その他	自助支援
1	生 計	126	111	23	0	26	0	10
2	住 宅	10	6	2	0	0	1	3
3	医 療	12	12	1	0	5	0	3
4	教 育	18	12	5	0	1	0	3
5	家族関係	41	24	11	0	8	0	0
6	人間関係	57	4	12	0	0	0	0
7	福祉関係	13	12	0	0	5	0	0
8	社会生活	8	6	2	0	1	0	0

9	人権法律	6	4	2	0	2	0	0
10	償 還	2	2	0	0	0	0	0
11	その他	37	29	8	0	5	0	0
合 計		330	222	66	0	53	1	19

(45) 各種相談機能団体との連携強化

ア 千歳市各種相談員連絡協議会理事会

と き 平成 30 年 6 月 12 日

会 場 千歳市福祉センター

出席者 事務局 1 名

イ 千歳公共職業安定所管内生活保護受給者等就労自立促進協議会

と き 平成 30 年 6 月 19 日

会 場 ハローワーク千歳

出席者 事務局 1 名

ウ 千歳市各種相談員連絡協議会総会

と き 平成 30 年 6 月 27 日

会 場 福祉センター

出席者 事務局 2 名

エ 千歳市各種相談員連絡協議会理事会

と き 平成 30 年 9 月 27 日

会 場 市役所入 3 F 会議室

出席者 事務局 1 名

オ 千歳市各種相談業務案内の街頭啓発及び総合相談所

と き 平成 30 年 10 月 16 日、10 月 19 日

会 場 イオン千歳店、市役所議会棟

出席者 事務局 1 名

カ 千歳市要保護児童地域ネットワーク協議会研修会

と き 平成 30 年 7 月 30 日

会 場 花園コミュニティーセンター

出席者 事務局 1 名

キ 千歳市要保護児童地域ネットワーク協議会第 1 回実務者会議

と き 平成 30 年 11 月 7 日

会 場 総合福祉センター

出席者 事務局 1 名

ク 千歳市要保護児童地域ネットワーク協議会第 2 回実務者会議

と き 平成 31 年 2 月 19 日

会 場 総合福祉センター

出席者 事務局 1 名

(46) 日常生活自立支援事業等の利用に係る緊急事務管理

日常生活自立支援事業等を利用するまでの間、利用者の生命、健康及び財産の保護を図るため、本人に代わり緊急事務管理を行う事業で、今年度については契約の実績はありませんでした。

(47) 日常生活自立支援事業の推進【道社協受託事業】**重点事項**

高齢や障がいにより日常生活の判断能力に不安があり、在宅で生活している方または在宅で生活する予定の方に、福祉サービスの利用手続きや生活費の管理等の支援を行いました。

ア 相談援助件数 334 件（内訳：制度問合せ 2 件、初回相談 13 件、相談援助 319 件）

イ 研修会及び会議

① 新任生活支援員研修会

と き 平成 30 年 8 月 29 日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

参加者 3 名（生活支援員として新たに登録を希望する方）

② 北海道地域福祉生活支援センター石狩地区 自立生活支援専門員/生活支援員研修会

と き 平成 30 年 10 月 23 日

会 場 札幌市

参加者 10 名（内訳：自立生活支援専門員 1 名、生活支援員 9 名）

③ 生活支援員連絡会議

と き 平成 30 年 12 月 5 日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

参加者 11 名

ウ 生活支援員登録状況

- ・登録者数 21 名（3 月末現在）

エ 契約件数 21 件（認知症高齢者 5 件、知的障がい者 3 件、精神障がい者 13 件）

契約延べ件数 28 件（前年度 25 件）、新規契約件数 8 件（前年度 5 件）

オ 啓発・広報事業

- ・社協広報誌掲載による啓発

発行回数・発行部数：「今日から、」年 6 回、発行部数：42,500 部

社協 HP への事業掲載

(48) 生活応急資金貸付

低所得者のための不時の出費等により生活がおびやかされ、資金の融通を他から受けることが困難である世帯に対し、一時資金の貸付を行うとともに相談援助を行いました。

ア 生活応急資金貸付状況

- ・貸付件数 44 件（前年度比 5 件減）
- ・貸付金額 1,550 千円（前年度比 160 千円減）
- ・償還件数（過年度・当年度貸付分）75 件
- ・償還金額（過年度・当年度償還分）1,678,000 円

区 分	件 数		金 額 (円)		償還指導 (件)
	29 年度	30 年度	29 年度	30 年度	
貸 付	49	44	1,710,000 円	1,550,000 円	督促通知 30 件(延) 居住地調査 6 件
償還 (過年度貸付分)	52	20	549,824 円	243,000 円	
償還 (当年度貸付分)	51	55	1,565,000 円	1,435,000 円	

イ 生活応急資金償還金納入督促の発行 年2回(7月・1月)

ウ 生活応急資金滞納世帯訪問調査 年1回(3件)

(49) 食料支給サービス

生活支援の相談を受ける中で、緊急的な食糧確保の必要な世帯に食料支給を行いました

支給件数 (支給世帯数)		支給世帯の 家族総数 (人)		支給内容・数量		
29 年度	30 年度	29 年度	30 年度		29 年度	30 年度
32	47	44	72	精米 (kg)	38	51
				惣菜缶詰 (個)	130	181
				お茶 (500ml)	0	0
				水 (500ml)	0	0
				レトルトカレー	122	177
				カップめん	130	257

(50) 生活福祉資金貸付【道社協受託事業】

他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者・高齢者世帯、失業者の経済的自立と生活の安定を目指し、様々な用途に応じた貸付を行いました。

ア 生活福祉資金取扱状況

区 分		貸付件数	貸付額 (円)	償還指導(件)
福祉資金	緊急小口資金	14	1,160,000 円	139 件
	緊急(特例) 小口資金	1	100,000 円	
	冠婚葬祭経費	1	130,000 円	
教育支援資金	就学支度費	2	495,000 円	
	教育支援費	3	6,120,000 円	
合 計		21	8,005,000 円	139 件

※償還指導の方法 文書、電話、来所

イ 千歳市生活困窮者自立支援連絡調整会議

と き 平成 30 年 10 月 24 日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

出席者 事務局 1 名

(51) 特別生活資金貸付【道社協受託事業】

燃料費等冬期の生活を確保する資金を必要とする年金等を受給する高齢者、障がい者世帯、特定疾患患者世帯へ貸付を行う制度で、今年度については貸付実績はありませんでした。

(52) 屋根の雪下ろしサービス助成事業

住宅の屋根の雪下ろしで苦勞している持家の高齢者世帯や障がい者世帯等に対し、居住する住宅の屋根の雪下ろしに要する経費を助成する制度で、社協広報紙及びホームページに掲載したほか、民生委員児童委員へ案内文書を送付し事業周知を図り取り組みました。

ア 助成件数 1 件

イ 助成金額 10,800 円

(68) 法人後見事業^{拡充}

日常生活自立支援事業等の利用者の中で、身寄りがなく、判断能力の低下により契約継続が困難になった方に対して、成年後見人等を受任し、財産管理、身上監護などの後見事務を行う法人後見事業を実施しました。

① 相談援助件数 133件

② 市長申立による法人後見受任 3 件（累計受任件数 5 件）

③ 法人後見運営委員会

・第 1 回法人後見運営委員会

と き 平成 30 年 12 月 11 日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

内 容 法人後見受任適否の検討（1 件）

出席者 委員 5 名

・第 2 回法人後見運営委員会

と き 平成 31 年 2 月 19 日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

内 容 法人後見受任適否の検討（2 件）

(69) 生活困窮者等に対する安心サポート事業の検討^{新規}

道内の社会福祉法人や生活困窮者自立相談支援機関等と連携して、生活困窮者への相談支援や現物給付による経済的援助を行い、生活困窮者の自立に繋げる支援を行う安心サポート事業の取り組みを検討するため、実施地区の現状と取組課題を把握し情報収集に努めました。

・生活困窮者等に対する安心サポート事業説明会への出席

と き 平成 30 年 12 月 18 日（火）

会 場 札幌市

内 容 事務局 1 名

内 容 事業説明「生活困窮者等に対する安心サポート事業の進め方」

事例紹介「登別市社会福祉協議会の取組み」「I W A T E・あんしんサポート事業の取組み」

基本計画3「地域福祉を先導する社協づくり」

6. 新たな制度、複合的生活課題等に対応する助け合い活動の創出や仕組みづくり

(54) 新たな制度、権利擁護などの課題に対応する事業や仕組みの検討 **重点事項**

介護保険制度の改正など新たな制度への対応や住民の権利擁護など複合的な生活課題に対する助け合い活動や仕組みづくりを検討しました。

ア 「ちとせ学習チャレンジ塾」応援食事会や地域食堂等への支援

経済的な理由から塾に通うことができない子どもたちを対象に、自主的に学べる場を提供する、市主催の「ちとせ学習チャレンジ塾」とタイアップし、ボランティアによる食事提供や講話などを通して、進路に向けて応援する取組みを行いました。また、地域食堂の取組みについて研究しました。

と き 平成30年7月25日、12月17日

会 場 千歳市総合福祉センター

参加者 1回目～61名（中高生20名、支援ボランティア14名、スタッフ27名）

2回目～67名（中高生31名、支援ボランティア12名、スタッフ24名）

イ 暮らしのちょっと応援サービス事業（ヤマセミねっと） **新規**

住民相互の助け合いを基本に、制度の狭間のニーズなど、生活のちょっとした困りごとの支援を通じて、助けたり、助けられたり、お互いさまの地域づくりを進めるため、住民参加型の有償サービス「暮らしのちょっと応援サービス事業（ヤマセミねっと）」を実施しました。

① 事業説明会・研修会の開催

- ・暮らしのちょっと応援サービス説明会・応援できる方登録養成講座

と き 平成30年6月5日、7日、12日、14日、19日、8月2日、9月8日、10月6日、11月7日、12月8日（10回）

会 場 北新コミュニティセンター、鉄東コミュニティセンター、花園コミュニティセンター、泉沢向陽台コミュニティセンター、千歳市社会福祉協議会

参加者 延199名

協力者登録 55名

内 容 暮らしのちょっと応援サービス事業の説明会

- ・ヤマセミねっと活動報告

と き 平成30年11月21日

会 場 千歳市社会福祉協議会

参加者 20名

内容 暮らしのちょっと応援サービス事業と活動状況の説明会

② 事業周知

- ・活動者用名入れブルゾンの作成
- ・社協事務所正面玄関に看板設置（8月、3月）
- ・周知用チラシ、ポスター、宣伝用ポケットティッシュ作成配付掲示活動
- ・社協だより「今日から」、ちゃんと2月号、4月号、広報ちとせ、千歳民報、読売新聞、事業周知記事の掲載

③ 支援回数等

支援回数 72回、協力者派遣人数延べ 76名

(55) インフォーマルな住民活動の情報収集と提供

ア 収集した情報

- ① 小地域福祉ネットワーク活動推進事業に取り組む町内会の活動を収集
- ② 介護予防等の通いの場（サロン）及び地域の居場所づくりに関する情報を収集

イ 提供方法

- ① 小地域福祉ネットワーク活動報告集を発行し、町内会、地区民生委員児童委員協議会老人クラブ連合会に配付
- ② 日常生活圏域版ガイドマップ【おさんぼなび】を作成し、町内会、地区民生委員児童委員協議会、老人クラブ、関係機関等へ配付

7. 社協組織の強化・充実

(56) 自主財源と公費財源の確保

役員を中心に個人賛助会員・団体賛助会員・企業会員の加入呼びかけを行い、会員会費制度の理解と協力をお願いしました。

ア 会員加入状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	増減
個人賛助会費	726,000 円 (345 件)	670,000 円 (325 件)	-56,000 円 (-20 件)
団体賛助会費			
福祉団体等	440,000 円 (174 件)	460,000 円 (174 件)	20,000 円 (- 件)
老人クラブ	88,000 円 (46 件)	70,000 円 (35 件)	-18,000 円 (-11 件)
町内会	126,000 円 (59 件)	156,000 円 (65 件)	30,000 円 (6 件)
企業会費	1,160,000 円 (115 件)	1,120,000 円 (110 件)	-40,000 円 (-5 件)

イ 会員募集強調月間の実施内容

- ① 現会員への周知文書及びチラシ（郵便振替用紙同封）による勧奨
- ② 「今日から、」（7月号）、ホームページ等の広報媒体の活用
- ③ 社協事務所屋外（正面玄関）への周知看板の設置によるPR活動
- ④ 個人賛助会員、団体賛助会員、企業会員への会員章プレートの配付
- ⑤ 新会員加入促進のため当法人の取引業者様（未加入法人）に対して、会員会費の理解と協力を依頼（依頼 26 件、加入 1 件）

ウ 継続的な加入につながる会費納入システムの導入

預金口座振替による会費の納入について、会員に対して案内し利用促進に努めました。

口座振替登録件数 21 件（前年比 1 件減）

エ 会報「今日から、」の広告募集

会報「今日から、」へ広告を掲載する事業所等を募集しました。

広告掲載状況

	件数	金額	発行部数
平成 30 年度	36 件	130,000 円	(5 月) 31,693 部 (7 月) 41,754 部 (9 月) 42,139 部 (11 月) 42,144 部 (1 月) 42,164 部 (3 月) 42,134 部
平成 29 年度	25 件	105,000 円	年 6 回×33,000 部

オ ホームページバナー広告

社協ホームページへ広告を掲載する事業所等を募集しました。

広告掲載状況

	件数	金額	掲載料（1 ヶ月）
平成 30 年度	4 件	23,000 円	1,000 円
平成 29 年度	4 件	41,000 円	1,000 円

カ 愛のポケット募金箱の設置協力

	件数	寄付金	募金箱設置個数
平成 30 年度	106 件	408,714 円	99 個
平成 29 年度	115 件	437,071 円	106 個

(57) 愛情銀行寄付金及び社会福祉基金の適切な運用

ア 愛情銀行の啓発

広報紙、パンフレット等による PR 活動の強化に努めました。

① 一般預託寄付金（物品除く）

	件数	寄付金
平成 30 年度	118 件	3,344,257 円
平成 29 年度	137 件	5,687,742 円

② 指定預託寄付金（物品除く）

	件数	寄付金
平成 30 年度	14 件	114,796 円
平成 29 年度	5 件	124,847 円

イ 社協会葬礼状利用の啓発

社協会葬礼状（香典による寄附）の全市的普及に向けて町内会及び市内各葬儀社の協力によりその推進を図りました。

	件数	寄付金
平成 30 年度	6 件	370,000 円
平成 29 年度	5 件	400,000 円

ウ 福祉機器購入積立金残高 570,385 円

① リングプルの回収

	回収量	寄付換金
平成 30 年度	1,092 kg	29,268 円
平成 29 年度	1,394 kg	57,013 円

② ちとせ集団資源回収紙パック奨励金福祉寄附 65,128 円

③ 福祉機器の購入 車椅子 10 台 (180,000 円)

エ 交通遺児見舞金積立金残高 479,161 円

① 交通遺児見舞金・援助金の支給

交通事故により遺児となった満 18 歳未満の者に対して、福祉向上に寄与するための援助金の支給です。今年度の支給はありませんでした。

オ 社会福祉基金運動の啓発

社会福祉基金寄附金 1 件 89,010 円

カ 愛キャップ市民回収運動の協力

① 実施者 愛キャップ市民回収運動実行委員会

② ペットボトルキャップ回収量及び社会福祉基金寄附金

	回収量	寄附金
平成 30 年度	8,901 kg	89,010 円
平成 29 年度	7,510 kg	75,100 円

③ 社会福祉基金寄附金 89,010 円

キ 愛キャップ市民回収運動実行委員会の開催

① 日 時 平成 31 年 2 月 14 日

② 場 所 千歳市社会福祉協議会事務所 2 階 会議室 2. 3

③ 内 容 平成 30 年度愛キャップ市民回収運動結果について

(58) 理事会、評議員会、委員会等の活発化

理事会、評議員会、委員会等の活発化や責任ある理事体制の確保、重要事項の議決機関である評議員会の機能強化を図りました。（詳細は 4 ページからの会議等の開催状況に掲載）

(59) 人材の育成

研修体制の充実に努め、職員一人当たりの平均研修参加回数は 2.0 回でした。

※平均研修参加回数計算式：研修参加人数 99 名 ÷ 総合・嘱託職員数 49 名 = 2.0

ア 各種研修事業への参加

a. 役員研修

- 【6月】 全道市町村社協会長・事務局長研究協議会（5日）／2名
 - 【9月】 石狩地区市町村社協会長等情報・意見交換会（14日）／4名
 - 【11月】 社会福祉法人監事研修（14日）／3名
法人役員研修（15日）／2名
- b. 職員研修（外部研修参加人数：99名）
- 【4月】 会計・労務セミナー(11日)／2名
 - 【5月】 福祉車両安全運転講習会(8日)／1名
介護リーダー養成研修(8日)／1名
石狩管内認知症サポーターキャラバンプロモーション作戦会議（30日）／1名
 - 【6月】 主任介護支援専門員基礎講座①(16日)／1名
石狩管内地域包括支援センター連絡会議企画運営委員会(25日)／1名
生活福祉資金貸付事業研修会（26日）／1名
 - 【7月】 サピエ研修会（点字図書室職員対象）（5.6日）／1名
介護支援専門員実務研修制度及び地域包括関係ワーキング会議(10日)／1名
全道社協職員研究協議会（12日）／2名
要保護児童ネットワーク協議会研修会（13日）／1名
災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修会(19.20日)／1名
地域包括ケアセミナー(31日)／1名
 - 【8月】 手話通訳問題研究集会（17.19日）／1名
地域づくりによる介護予防推進アドバイザー合同研修会(19日)／1名
相談支援職員研修(23日)／1日
現任専門職研修相談支援職員研修(24日)／1名
ファミリー・サポート・センターアドバイザー意見交換会（31日）／3名
要約筆記者養成講座（25日～全14回）／1名（延べ14回）
 - 【9月】 医療・介護職のためのアンガーマネジメント(1日)／1名
現場で役立つ医療知識向上研修(13日)／1名
現任専門職研修(13日)／1名
信頼を高めるクレーム・苦情対応セミナー(14日)／2名
介護支援専門員実務研修制度及び地域包括関係ワーキング会議(19日)／1名
介護保険集団指導(27日)／2名
石狩管内地域包括支援センター連絡会(25日)／1名
 - 【10月】 VR認知症体験研修会(5日)／1名
全日本聾教育研究北海道大会（5日）／1名
全国国保地域医療学会(5.6日)／1名
リスクマネジメント研修(12日)／1名
地域における権利擁護システム構築セミナー（12日）／1名
災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修会(15.16日)／1名
主任介護支援専門員更新研修1回目(17.18日)／1名
全道ろうあ者相談員・専任手話通訳者研修会（17.18日）／1名

北海道地域福祉生活支援センター石狩地区指揮監督・専門員・生活支援員
研修会（23日）／1名

認知症ケアスキルアップ研修(25日)／1名

社協・生活支援活動強化方針普及・促進セミナー(25日)／2名

介護予防推進フォーラム(27日)／1名

【11月】 生活における薬の影響と調整の研修会(1日)／2名

地域包括ケアシステム～医療との連携による支えの循環～(4日)／1名

主任介護支援専門員フォローアップ研修会(4日)／2名

対人援助レベルアップ研修(8日)／1名

主任介護支援専門員更新研修2回目(12日～14日)／1名

認知症ケアスキルアップ研修(12日)／1名

北海道介護予防支援従事者研修(13日)／1名

介護支援専門員実務研修制度及び地域包括関係ワーキング会議(14日)／1名

困ったときに頼れる弁護士(15日)／1名

石狩管内社協職員連絡協議会第1回研修(16日)／2名

北海道の自動車運転と移動手段を考える会(17日)／1名

地域包括支援センター職員研修(19日)／1名

障がい総合支援支援法集団指導(23日)／1名

石狩振興局管内地域包括支援センター連絡会議(26日)／1名

北海道生活支援コーディネーター養成研修会(30日)／2名

【12月】 北海道災害ボランティアセンター初期支援チーム研修会(3日)／1名

認定調査現任研修(5日)／1名

ボランティア強化セミナー(6日)／1名

北海道介護予防支援従事者研修(10日)／1名

北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修(6.7日)／2名

主任介護支援専門員更新研修3回目(15.16日)／1名

主任介護支援専門員基礎講座②(15.16日)／1名

【1月】 全道福祉の学習推進セミナー(10日)／1名

【2月】 石狩振興局管内地域包括支援センター連絡会議企画運営委員会(4日)／1名

成年後見センター等担当職員研修(12日)／2名

社会福祉法人向け消費税改正セミナー(13日)／2名

石狩管内社協職員連絡協議会研修会(22日)／2名

【3月】 ホームヘルプサービス事業経営セミナー(8日)／1名

地域共生社会に向けたシンポジウム(13日)／2名

地域ケア会議立ち上げ・司会者養成研修(19日)／1名

石狩管内生活支援コーディネーター意見交換会(27日)／3名

イ 内部職員研修の実施

(1) 安全運転講習会(5/24 移送介助サービスボランティア研修と併催)／20名

(2) 職員研修

採用3年以降の総合職員を対象とした、業務の円滑試行に役立つ知識やスキル等を習得し、指導力の強化を図ることを目的とした内部研修の実施。

講 師：岡田光次郎 氏（よつば社会保険労務士事務所 社会保険労務士）

会 場：新富ほっとす2階研修室

	日 時	出席人数	研修テーマ（研修方法）
第1回	6/13（水） 17:00～18:30	25名	人生100年時代を迎えた社協運営 （講演・グループワーク）
第2回	10/16（火） 17:00～19:00	23名	働き方改革関連法案の概要と今後留意すべき点 （講演・グループワーク）
第3回	12/13（木） 17:00～18:30	28名	目標設定の必要性と目標の作成方法について （講演・グループワーク）
第4回	3/14（木） 17:00～18:30	28名	第6次福祉実践計画の振り返りと第7次福祉実践計画策定に向けて（講演・グループワーク）

（3） 接遇・コミュニケーション研修

より一層のサービス向上を図るため、接遇の基礎、相手に合わせた接遇、職場内接遇などについての研修を行いました。

日時及び出席者：平成31年3月19日（火）

①10:00～12:00／24名 ②13:30～15:30／21名

講 師：大植 友樹 氏（医療法人溪仁会札幌西円山病院地域連携推進室副室長・経営管理部次長）

会 場：千歳市社会福祉協議会 会議室2.3

（60） 介護保険事業の健全な運営

北海道胆振東部地震による介護保険事業の休業及び介護保険報酬改正による報酬の減額など、収入の減額に対し決算見込や財務に関する会議を行い適正な財務運営に努めました。

また、介護職の人員不足から利用者の受入が難しい状態が見込まれたため、総合職員などの職員増員を図り、適切なサービスの提供に努めました。

介護保険事業収支比率（収入額／支出額）は、96.4%でした。

8. 広報活動の強化・充実

(61) 広報紙の発行、ホームページ、パンフレットの充実

ア 会報「今日から、」の発行

広く社協活動をお知らせするとともに、福祉の啓発を目的に発行し介護予防や福祉団体活動紹介の連載を掲載しました。

	平成 29 年度		平成 30 年度		配付方法
	回数	部数	回数	部数	
「今日から、」	6	198,000	6	242,028	生活情報誌「ちゃんと」への折込、配達地域指定郵便物（タウンメール）の利用、就労継続支援B型へ配付依頼、企業会員へ郵送

イ ホームページの運用

事業の実施案内や報告などを細かに掲載し、タイムリーな情報発信に努めました。

閲覧者数：49,701名

ページ参照数（上位項目のみ記載）

採用情報	3,234
北海道胆振東部地震災害について	2,465
地域包括支援センター	1,652
子育て支援事業 (ファミリー・サポート・センター)	1,171
ボランティアのこと	1,157

(62) 苦情解決処理体制の充実

苦情受付窓口となる第三者委員については、事務所内でのポスター掲示やホームページに掲載することで周知を図っています。

(63) 個人情報保護の強化

マイナンバー取扱規程及び取扱マニュアルに基づき、適切な個人情報の管理に努めています。

(64) 社会福祉大会の開催

千歳市における社会福祉活動、社会福祉事業の推進に貢献し、または他の模範と認められる行為があった111個人及び6団体に対し、社会福祉の貢献・功労に関する表彰状の贈呈を行いました。

と き 平成30年11月18日（日）

会 場 北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）中ホール

来場者 246名 ※前年度比+101名

表 彰 社会福祉功労表彰

社会福祉団体役員功労表彰：4名

ボランティア活動功労表彰：3名

町内会役員功労表彰：32名

民生委員児童委員功労表彰：16名

福祉委員功勞表彰：39名

町内会役員並びに福祉委員功勞表彰：1名

民生委員児童委員並びに福祉委員功勞表彰：6名

社会福祉善行表彰

金品預託善行表彰：4名3団体

ボランティア活動表彰：6名2団体

社協事業協力支援表彰：1団体

その他

●財政状況の情報公開

ア 「今日から、」「社協だより」での決算報告の掲載

イ ホームページでの財務三表の公開

●事務所会議室の利用状況

	利用回数（回）		利用時間（時間）		利用人数（人）	
	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度
登録福祉団体	634	533	1,848	1,480	7,775	7,997
社協関係	292	546	1,728	1,856	4,479	6,673
千歳市関係	44	42	214	129	870	646
合計	970	1,121	3,789	3,456	13,124	15,316

(利用人数前年度比：2,192人増)